

愛知県美術館年報

目次

展示・展覧会	5
2001年度観覧者数一覧	5
所蔵作品展	6
所蔵作品展展示作品リスト	7
小金画展（テーマ展示）	18
企画展	21
移動美術館	34
作品の収集と保存管理	36
作品の収集	36
収集方針・収集の状況など	36
新収蔵作品	37
保存・修復	42
所蔵作品の貸出	44
教育普及	49
出版・発行	49
講演会・講座等	49
ギャラリートーク	50
各種鑑賞プログラム	50
ビデオトーク	51
博物館実習	52
友の会	53
調査研究	54
ギャラリー（貸館）	55
利用状況	55
利用団体一覧	56
組織および職員構成図	58
関係役員会員名簿	59

2001年度観覧者数一覧

所蔵作品展 ※（ ）は年度内(2001年 4 月 1 日－2001年 3 月31日)の数字

展示期	会 期	日 数	入場者数	一日平均
2000年度第Ⅲ期	－2001年 4 月 1 日	(1)	(975)	(975)
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		(972) (3)	
2001年度第Ⅰ期	4 月13日－ 9 月 2 日	(108)	59,294	553
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		58,613 1,653	538 15
2001年度第Ⅱ期	9 月14日－2002年 1 月20日	(95)	13,229	139
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		5,463 7,766	58 82
2001年度第Ⅲ期	2 月 8 日－ 4 月 7 日	(45)	38,259 (31,139)	(692)
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		(30,476) (663)	(677) (15)
	合 計	(249)	(104,637)	(420)
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数			(380) (40)

企画展

展覧会名	会期・日数	入場者数	一日平均
メルツバッハー・コレクション展	2001年 4 月13日－ 5 月27日 (39日間)	47,245	1,211
ロダンと日本	6 月22日－ 8 月19日 (51日間)	57,339	1,124
バックミンスター・フラワー展	9 月14日－11月 4 日 (45日間)	10,962	243
ポンペイ展	2002年 2 月 8 日－ 4 月 7 日 (51日間)	101,367	1,987
合 計	(186日間)	216,913	1,166

所蔵作品展

所蔵作品展

所蔵作品によって20世紀の美術を系統的に展示することを基本として、3期の所蔵作品展を開催した。そのなかで、第2期前期には「夏休み特集 絵よ、動け！」を、第2期後期（全館所蔵作品展）には展示室1－3を使用して「時の旅人たち」と題して所蔵の現代美術作品をまとめて紹介するなど、所蔵作品展にも企画性を盛り込むよう工夫した。

小企画展（テーマ展示）

所蔵作品展展示エリアの一部を用いて、特定のテーマに基づく小企画展を開催している。これは必ずしも所蔵作品によらず、20世紀美術史上重要な作家や運動、現代美術の新しい動向などを簡潔に紹介したり、学芸員の調査研究活動を展示によって発表する場として企画されている。2001年度は下記展示を行った。

・「杉戸洋展」 2002年2月8日(金)－4月7日(日)

2001年度所蔵作品展開催状況

展示期	会期	展示作品数
第Ⅰ期前期	2001年4月13日－6月3日	絵画62 立体14 版画61 水彩・素描0 計137
後期	6月22日－9月2日	絵画68 立体15 版画19 水彩・素描0 計102
第Ⅱ期前期	9月14日－11月4日	絵画75 立体14 版画7 水彩・素描22 計118
後期	11月17日－2002年1月20日	絵画131 立体37 版画3 水彩・素描8 計179
第Ⅲ期	2002年2月8日－4月7日	絵画78 立体17 版画6 水彩・素描2 計103

展示室構成（○中の数字は展示室番号）

第Ⅰ期前期	④谷中安規と日本近代版画 ⑤20世紀の美術 ⑥難波田龍起と難波田史男 ⑦徳岡神泉展 ⑧パウル・クレー展
第Ⅰ期後期	④夏休み特集「絵よ動け！」 ⑤20世紀の美術 ⑥北脇昇展 ⑦日本の洋画 ⑧長谷川潔展
第Ⅱ期前期	④東山魁夷と現代の日本画 ⑤20世紀の美術 ⑥北川民次 ⑦明治・大正の洋画 ⑧素描の魅力
第Ⅱ期後期	①時の旅人たち ②時の旅人たち ③時の旅人たち ④60年代の洋画 ⑤20世紀の西洋美術 ⑥時の旅人たち ⑦近代の日本画 ⑧3人の彫刻家 佐藤忠良・舟越保武・柳原義達
第Ⅲ期	④近代日本の美術 ⑤20世紀の美術 ⑥杉戸洋展 ⑦新収蔵作品展 ⑧新収蔵作品展

所蔵作品展 展示作品リスト

(*印は東京国立近代美術館所蔵作品)

■2001年度 第I期 前期(4月13日-6月3日)

前室	学芸員お薦めのこの一点		谷中 安規	青春の墓標*	1933頃	北川 民次	瀬戸十景	1937	
	岡 鹿之助	窓	1949	谷中 安規	一族の長(版画集6)*	1933	川西 英	古道具屋 A	1941
4室	谷中安規と日本近代版画		谷中 安規	花は花(版画集8)*	1933	恩地 孝四郎	人体考察 No.3 衣つけたる	1929	
	〈版 画〉		谷中 安規	臆想氏(版画集9)*	1933	恩地 孝四郎	抒情 私は信じる	1932	
	谷中 安規	飛ぶ首	1927	谷中 安規	浅草寺*	1933	恩地 孝四郎	虫(詩画集『季節標』)	1935
	谷中 安規	自画像	1932	谷中 安規	内田百閒著『王様の背中』屏絵*	1934	恩地 孝四郎	腰越海岸	1938
	谷中 安規	赤い人魚	1932	谷中 安規	内田百閒著『冥途』*	1934	恩地 孝四郎	明治神宮	1929
	谷中 安規	朝鮮(民家)	1932	谷中 安規	内田百閒著『王様の背中』口絵*	1934	5室 20世紀の美術		
	谷中 安規	蝶を吐く人	1933	谷中 安規	千里走獣*	1934	〈絵 画〉		
	谷中 安規	虎ねむる	1933	谷中 安規	童子図・鷺*	1937/40頃	パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902
	谷中 安規	ゴンドラの月	1936	谷中 安規	龍をうつ*	1937/39頃	ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
	谷中 安規	詩巻(こころの花Ⅰ)	1936	谷中 安規	鶏をうつ*	1937/39頃	アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
	谷中 安規	堂庵夢がたり	1938	谷中 安規	[馬]*	1938	ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
	谷中 安規	童子騎像	1939	谷中 安規	[やつで]*	1938	ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
	谷中 安規	「わかれの宴」*	制作不詳	谷中 安規	童子騎虎*	1939	アンリ・マティス	待つ	1921-22
	谷中 安規	「鐘」*	制作不詳	永瀬 義郎	香港夜景	1930	エミール・ノルデ	静物L(アマゾン、能面等)	1915
	谷中 安規	「かたつむり」*	制作不詳	深沢 索一	丘上走土	1925	エルンスト・ルーズビヒル	グラスのある静物	1912
	谷中 安規	「鷺」*	制作不詳	藤牧 義夫	銀行	1933	グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
	谷中 安規	「鉢植え」*	制作不詳	藤牧 義夫	まくら橋	1934	ジャック・ヴィヨン	存在	1920
	谷中 安規	宴*	1931頃	前川 千帆	新宿夜景	1931	フランティšek・クプカ	灰色と金色の展開	1919
	谷中 安規	夢の国の駅*	1932	前川 千帆	渋谷百軒店	1929	ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海Ⅰ	1927
	谷中 安規	少時代*	1932	前川 千帆	神田青物市場	1930	ハンス・リヒター	色のオーケストレーション*	1923
	谷中 安規	月*	1932	前川 千帆	深川木場	1930	ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928

マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
ジョアン・ミロ	絵画	1925
ポール・デルヴォー	こだま	1943
サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
猪熊 弦一郎	マンハッタンA	1966
アンディ・ウォーホル	レディース・アンド・ジェントルメン	1975
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
中西 夏之	紫・むらさき XIX	1983
中西 夏之	M字型-II	1981
辰野 登恵子	Untitled 95-1	1995
松本 陽子	光は荒野の中に拡散している	1993
宇佐美 圭司	ビッグ・パン	1987
宇佐美 圭司	長い歩み	1964
加納 光於	繁み・運動・エレメントB	1988

〈彫刻・立体〉

ケーテ・コルヴィッツ	恋人たち II	1913
ハンス・アルプ	森	1917頃
オシップ・ザツキン	チェロのトルソ	1956-57
ルイズ・ニーヴェルスン	漂う天界	1959-66
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965

6室 難波田龍起と難波田史男

〈絵 画〉

難波田 龍起	萌	1961
難波田 龍起	原初的風景B	1987

難波田 史男	涙の川*	1962
難波田 史男	無題*	1963
難波田 史男	少の日の記憶*	1967
難波田 史男	湖底の少*	1967
難波田 史男	石庭*	1967
難波田 史男	流浪の人*	
難波田 史男	彼方*	
難波田 史男	空*	1971
難波田 史男	海*	1972
難波田 史男	少女と秋*	1972
難波田 史男	秋の果実*	1973
難波田 史男	少女と鳥*	1973
難波田 史男	無題 1*	1968
難波田 史男	無題 2*	1968

7室 徳岡神泉展

〈絵 画〉

徳岡 神泉	赤松*	1947
徳岡 神泉	刈田*	1960
徳岡 神泉	芋田*	1943
徳岡 神泉	蕭条*	1928
徳岡 神泉	月明*	1930
徳岡 神泉	狂女*	1919頃
徳岡 神泉	薄*	1966

8室 パウル・クレー展

〈絵 画〉

パウル・クレー	女の館	1921
パウル・クレー	回心した女の墮落	1939
パウル・クレー	蛾の踊り	1923
パウル・クレー	小さな秋の風景*	1920

〈版 画〉

パウル・クレー	喜劇役者(インヴェンション4)	1904
パウル・クレー	恋人[ハウハウス・マイスター版画集]より	1923
パウル・クレー	ヘルセウス(機知は苦難に打勝った)*	1904
パウル・クレー	情熱の園*	1913
パウル・クレー	情熱の園	1913 寄託作品
パウル・クレー	空中楼阁*	1915
パウル・クレー	破壊と希望*	1916
パウル・クレー	内面から光を発する聖女*	1921

パウル・クレー	ホフマン風の物語*	1921
パウル・クレー	櫛をつけた魔女*	1922
パウル・クレー	崇高な面*	1923
パウル・クレー	刺のある道化師*	1931

〈絵 画〉

斎藤 義重	作品	1962
鬼頭 鍋三郎	椅子による*	1947
熊谷 守一	鬼百合に揚羽蝶*	1959
山口 長男	庭	1935

藤田 嗣治	青衣の女	1925
-------	------	------

〈彫刻・立体〉

ジャーコモ・マンズー	踊りのステップ	1953
------------	---------	------

アレクサンダー・コールドー	ゴースト	1976 寄託作品
---------------	------	-----------

ロビー等

〈絵 画〉

フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
----------	-------------------	------

■2001年度 第I期 後期(6月22日－9月2日)

前室 学芸員お薦めのこの1点

山口 勝弘	港 No.2	1966
-------	--------	------

4室 夏休み特集「絵よ,動け!」

〈絵 画〉

フランティšek・クプカ	灰色と金色の展開	1919
--------------	----------	------

ジャック・ヴィヨン	存在	1920
-----------	----	------

サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
----------	------------	------

堂本 尚郎	絵画 1962－25	1962
-------	------------	------

元永 定正	しろいひかりのあか	1982
-------	-----------	------

松本 陽子	光は荒野の中に拡散している	1993
-------	---------------	------

白髪 一雄	作品	1963
-------	----	------

白髪 一雄	黒大佛	1988 寄託作品
-------	-----	-----------

斎藤 義重	作品	1962
-------	----	------

李 禹煥	点より*	1977
------	------	------

李 禹煥	風と共に	1988 寄託作品
------	------	-----------

〈彫刻・立体〉

ヴィルヘルム・レームブルック	立ち上がる青	1913
----------------	--------	------

野水 信	コの記号 65-3	1965
------	-----------	------

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983
-------------	-------	------

アルナルド・ポモドーロ	飛躍の瞬間	1984
-------------	-------	------

川端 実	リズム*	1958
------	------	------

5室 20世紀の美術

〈絵 画〉

パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902
---------	---------	------

アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
-----------	-----------	------

ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
----------	-----------	------

ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
-----------	------	-------

ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
-----------	---------	-------

エミール・ノルデ	静物L(アマゾン、能面等)	1915
----------	---------------	------

アンリ・マティス	待つ	1921-22
----------	----	---------

パウル・クレー	女の館	1921
---------	-----	------

ジョアン・ミロ	絵画	1925
---------	----	------

ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海 I	1927
---------------	---------	------

エルnst・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
--------------------	----------	------

エルnst・ルートヴィヒ・キルヒナー	日の当たる庭	1935
--------------------	--------	------

加藤 昭男	大地	1986
-------	----	------

小田 襄	円柱の構造	1988
------	-------	------

今井 瑾郎	大地	1992
-------	----	------

ポール・デルヴォー	こだま	1943
-----------	-----	------

モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
----------	---------	---------

アンディ・ウォーホル	レディース・アンド・ジェントルメン	1975
------------	-------------------	------

フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
----------	-------------------	------

宇佐美 圭司	長い歩み	1964
--------	------	------

猪熊 弦一郎	マンハッタンA	1966
--------	---------	------

猪熊 弦一郎	地図の中の日曜日	1979
--------	----------	------

中西 夏之	M字型-II	1981
-------	--------	------

中西 夏之	紫・むらさき XIX	1983
-------	------------	------

宇佐美 圭司	ビッグ・バン	1987
--------	--------	------

加納 光於	繁み・運動・エレメントB	1988
-------	--------------	------

辰野 登恵子	Untitled 95-1	1995
--------	---------------	------

ヴァルヘルム・レームブルック	母と子(幻影 II)	1913
----------------	------------	------

ケーテ・コルヴィッツ	死の膝に抱かれる女	1921
------------	-----------	------

〈彫刻・立体〉		
ケーテ・コルヴィッツ	恋人たち II	1913頃
ヴィルヘルム・レームブルック	立ち上がる青	1913
エルンスト・バルラッハ	忘我	12
エルンスト・バルラッハ	母なる大地 II	1920
ルイズ・ニーヴェルスン	漂う天界	1959-66
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965

6室 北脇昇展

〈絵 画〉		
北脇 昇	新偶像説*	1937
北脇 昇	断層面*	1937
北脇 昇	空の訣別*	1937
北脇 昇	木の根と芽*	1937
北脇 昇	美わしき蘭*	1938
北脇 昇	浄火*	1938
北脇 昇	形態学の為に*	1939
北脇 昇	総合と分析*	1940
北脇 昇	文化類型学図式*	1940
北脇 昇	想・行・識*	1940
北脇 昇	周囲解理図(巽兌)*	1941
北脇 昇	秋の幻想*	1945
北脇 昇	水仙の形態学*	1946
北脇 昇	雪舟パノイア図説*	1947

7室 日本の洋画		
〈絵 画〉		
浅井 忠	八王子付近の街	1887
黒田 清輝	暖き日	1897
中村 彝	少女裸像	1914
木村 莊八	壺を持つ女	1915
河野 通勢	自画像	1917
前田 寛治	褐衣婦人像	1925
野口 弥太郎	門	1931頃
須田 国太郎	法観寺塔婆*	1932
藤島 武二	港の朝陽	1935
安井 曾太郎	承德喇嘛廟	1938
安井 曾太郎	安部能成像	1944
坂本 繁二郎	松間馬	1938 寄託作品
坂本 繁二郎	砥石	1943 寄託作品
鳥海 青児	畑*	1953

8室 長谷川潔展

〈版 画〉		
長谷川 潔	野辺小禽	1957
長谷川 潔	静物	1958
長谷川 潔	瓶の秋草(ピエド・シェーヴル)	1959
長谷川 潔	小鳥と落ち葉	1959
長谷川 潔	薔薇と封書	1959
長谷川 潔	人形のある静物	1960

長谷川 潔	コップに挿した種子草	1961
長谷川 潔	小鳥と胡蝶	1961
長谷川 潔	骸子独楽と幸福の星	1961
長谷川 潔	鯨い馴らされた小鳥(西洋将棋など)	1962
長谷川 潔	小鳥と二つの枯葉	1964
長谷川 潔	砂漠のバラと海の星	1964
長谷川 潔	コップに挿したアフリカの花(過去・現在・未来)	1965
長谷川 潔	メキシコの鳩 静物画	1966
長谷川 潔	ジロスコープのある静物	1966
長谷川 潔	本の上の小鳥 静物画	1967
長谷川 潔	メキシコの種子草 静物画	1967

ロビー等

〈絵 画〉		
関根 正二	チューリップ	1918 寄託作品
中村 彝	静物	1915頃
藤田 嗣治	青衣の女	1925
長谷川 潔	青い花瓶に挿した草花*	1948
〈彫刻・立体〉		
ジャーコモ・マンズー	踊りのステップ	1953
アレクサンダー・コールドー	ゴースト	1976 寄託作品
野水 信	コの記号	1965
屋外展示スペース		
〈彫刻・立体〉		
コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983

アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984
加藤 昭男	大地	1986

小田 襄	円柱の構造	1988
今井 瑾郎	大地	1992

■2001度 所蔵作品展 第Ⅱ期 前期(9月14日-11月4日)

前室 学芸員お薦めの1点		
長谷川 利行	酒売場	1927

4室 東山魁夷と現代の日本画		
〈絵 画〉		

東山 魁夷	晩照*	1954
東山 魁夷	青響*	1960
東山 魁夷	雪降る*	1961
東山 魁夷	黄耀*	1961
東山 魁夷	月篋*	1967
東山 魁夷	「朝明けの潮」中下絵*	1968
東山 魁夷	白い朝*	1980
加山 又造	黒い鳥	1957
吉岡 堅二	鶴	1959
岩橋 英遠	鴉*	1960
田淵 俊夫	青木ヶ原	1969
今野 忠一	妙義	1977
佐藤 太清	旅の夕暮	1981
池田 遥邨	稲掛け	1981
工藤 甲人	坐忘	1982

5室 20世紀の美術		
〈絵 画〉		

パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902
ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
エドゥアール・ヴイヤール	窓辺の女	1898
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
アンリ・マティス	待つ	1921-22
ポール・デルヴォー	こだま	1943
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
パウル・クレー	女の館	1921
ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海Ⅰ	1927
アメデオ・モディリアーニ	カリアティード	13
ジョアン・ミロ	絵画	1925
エミール・ノルデ	静物L(アマゾン、能面等)	1915
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	日の当たる庭	1935
アンディ・ウォーホル	レディース・アンド・ジェントルメン	1975
ロバート・ラウシェンバーク	コース	1958

ロバート・ラウシェンバーク	プレビュー(白霜エディション)	1974
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61

ルーチョ・フォンターナ	空間概念	1960
ジャン・デュビュッフエ	二人の脱走兵	1953

アド・ラインハート	1967 No.114	1950
ニコラ・ド・スタール	コンポジション	1948

サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969

アントニ・タピエス	コンポジション	1977
桑山 忠明	茶白青	1968

〈版 画〉		
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	三本の道	1917

ケーテ・コルヴィッツ	青い服の女工	1903
〈彫刻・立体〉		

ケーテ・コルヴィッツ	恋人たちⅡ	1913頃
ヴァルヘルム・レームブルック	立ち上がる青	1913

エルンスト・バルラッハ	忘我	12
エルンスト・バルラッハ	母なる大地Ⅱ	1920

アレクサンダー・コールダー	片膝ついて	1944
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66

ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
-----------	-----------------	------

6室 北川民次展

〈絵 画〉

北川 民次	タスコからの眺望	1933
北川 民次	メキシコ三童女	1937
北川 民次	ランチェロの唄*	1938
北川 民次	南国の花	1940
北川 民次	岩山に茂る	1940 寄託作品
北川 民次	砂の工場	1959
北川 民次	画家の家族*	1969
北川 民次	池袋風景	1937頃 寄託作品
北川 民次	風景	1937頃 寄託作品

〈版 画〉

北川 民次	家族	1937
北川 民次	メキシコの女	1937
北川 民次	牛	1937
北川 民次	タスコの裸婦	1941
北川 民次	メキシコの浴み	1941

7室 明治・大正の洋画

〈絵 画〉

高橋 由一	不忍池	1880頃
浅井 忠	八王子付近の街	1887
黒田 清輝	暖き日	1897
中川 八郎	北国の冬*	1908

青木 繁	太田の森	1902
熊谷 守一	半裸婦*	1904
山下 新太郎	白耳義の少女	1909
梅原 龍三郎	横臥裸婦	1908
安井 曾太郎	春の家*	1911
安井 曾太郎	婦人像	1912頃
中村 彝	少女裸像	1914
岸田 劉生	B.Lの肖像(バーナード・リーチ像)*	1913
小出 櫨重	N婦人像	1918
坂本 繁二郎	牧場	1915 寄託作品
太田 喜二郎	田植*	1916
辻 永	リング咲く*	1916
斎藤 豊作	夕映の流*	1913

8室 素描の魅力

藤島 武二	朝鮮服の女	制作不詳
藤島 武二	和服の女	制作不詳
古賀 春江	川沿いの家	制作不詳
小出 櫨重	裸婦	1930
森田 恒友	代々木裏風景	1920-21頃
森田 恒友	東平井沢高原	制作不詳
大沢 鉦一郎	少女	1919
大沢 鉦一郎	自画像	1919頃
宮脇 晴	鉢巻の自画像	1925
宮脇 晴	母の像	1925

宮脇 晴	母之像*	1924
宮脇 晴	風景(不動坂上)*	1925
岸田 劉生	葵	1918
村山 槐多	信州風景	1914-15頃
万 鉄五郎	小石川風景	1913頃
万 鉄五郎	後向きに立つ女	17頃
万 鉄五郎	茅ヶ崎風景	1924
藤田 嗣治	男の顔	1933
松本 竣介	都会*	1938
松本 竣介	果物を持つ少*	1942頃
松本 竣介	建物(茶)*	1948
松本 竣介	ニコライ堂	1941

ロビー等

〈絵 画〉

久米 桂一郎	秋景	1892
関根 正二	チューリップ	1918 寄託作品
中村 彝	静物	1915頃
宮脇 晴	母六十六歳之像*	1924
ルフィーノ・タマヨ	しま模様の人物*	1975

〈彫刻・立体〉

ジャコモ・マンズー	踊りのステップ	1953
アレクサンダー・コルダー	ゴースト	1976 寄託作品

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン カリブの女 1983

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間 1984

加藤 昭男 大地 1986

小田 襄 円柱の構造 1988

今井 瑠郎 大地 1992

■2001度 所蔵作品展 第Ⅱ期 後期（11月17日－2002年1月20日）

1室 時の旅人たち 平面の冒険

〈絵 画〉

リー・ウーファン 点より* 1977

荒川 修作 Diagram of Desire* 1985

百瀬 寿 Square-NE XIV: Twelve Stripes E 1987

中西 夏之 M字型-II 1981

中西 夏之 紫・むらさき XIX 1983

宇佐美 圭司 ビッグバン 1987

堀 浩哉 風の音へ 1984

堀 浩哉 水の肌へ 1984

松本 陽子 光は荒野に拡散している 1993

辰野 登恵子 Untitled 95-1 1995

根岸 芳郎 97-11-18 1997 寄託作品

加納 光於 流動のセミオティック 1982 寄託作品

〈立 体〉

舟越 桂 肩で眠る月 1996

2室 時の旅人たち 物語り化する立体

〈彫刻・立体〉

榎倉 康二 Story-干涉 49 1992 寄託作品

伊藤 公象 木の肉・土の刃 II (a)(b) (1993)

岡村 桂三郎 朱雀 1993

原 裕治 アポクリファ no.1 1994

原 裕治 アポクリファ no.2 1994

出原 次朗 昆虫の死骸 1993

出原 次朗 逃げるものは閉じ込める 1993

若林 奮 大気中の緑色に属するもの I 1982

戸谷 成雄 地霊 1990

戸谷 成雄 森 1992

西村 陽平 Iron Container for Mummified Magazines 1992

千崎 千恵夫 無題 1992

久野 真 銅鉄による作品 #272 1975

工藤 哲巳 果てしない後継がとわるマルセル・デュシャン 1977

北山 善夫 はなはだ大きいと言うべきである 1984

3室 時の旅人たち

加納 光於 語りえぬもののための変容 No.1-No.50 1977

前室 学芸員お薦めのこの1点

戸張 孤雁 煌めく嫉妬 石膏 1924

戸張 孤雁 煌めく嫉妬 ブロンズ 1924

戸張 孤雁 煌めく嫉妬 ブロンズ 1924

4室 60年代の絵画

〈絵 画〉

山田 正亮 Work NO.B 182 1958

オノサト・トシノブ 1986 三つの黒 1958

元永 定正 作品 1961

菅井 汲 ナショナル ルート NO.11 1964

吉仲 太造 遺産 1964

谷川 晃一 ベリカン反射 1965

白髪 一雄 作品 1963

尾藤 豊 モスクワの地下鉄 1957

小山田 二郎 愛 1956

中村 宏 内乱期 1958

星野 真吾 喪中の作品(昇天) 1965

三上 誠 経絡万華経 1967

下村 良之助 鼓舞 1964

杉全 直 窪んだ空間B 1958

池田 龍雄 黒い機械 1956

瑛九 白い輪 1954

5室 20世紀の西洋美術

〈絵 画〉

藤田 嗣治	青衣の女	1925
ラウル・デュフィ	サントドレスの浜辺	1906
アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
エドゥワール・ヴェイヤール	窓辺の女	1898
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
エルンスト・ルードヴィヒ・キルヒナー	日の当たる庭	1935
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)〔後期展示〕	1903
エドワード・ジョン・ポインター	世界の苦かりし頃〔前期展示〕	1891
ジャコモ・パツラ	太陽の前を通過する水星(習作)	1914
フランシス・ピカビア	糸巻き	1921-1922
ジャック・ヴィヨン	存在	1920
ベン・ニコルソン	1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933
クルト・シュヴィッターズ	メルツ絵画52、美容	1920
パウル・クレー	女の館	1921
アメデオ・モディリアーニ	カリアティード	13
ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
ジョアン・ミロ	絵画	1925
ポール・デルヴォー	こだま	1943
〈彫刻・立体〉		
アレクサンダー・アーチベンコ	歩く女	1912

レイモン・デュシャン=ヴィヨン	恋人たち	1913
〈絵 画〉		
ルーチョ・フォンターナ	空間概念	1960
ニコラ・ド・スタール	コンボジション	1948
アントニ・タビエス	コンボジション	1977
サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
ジャン・デュビュッフエ	二人の脱走兵	1953
ヤバチエフ・クリスト	旧ドイツ帝国国会議事堂の梱包	1986
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
フランツ・ゲルチュ	1930- ナターシャ IV	1987-1988
アド・ラインハート	No.114	1950
〈彫刻・立体〉		
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66
ラインハルト・セビエ	病室から	1992
ラインハルト・セビエ	思想家	1993
アレクサンダー・コールダー	片膝ついて	1944
6室 時の旅人たち(光を用いた作品)		
伊藤 福紫	空間と時間の中に	1805 1998
ヤノベ・ケンジ	アトムスツプロジェクト:大阪万博2 1998 寄託作品	
7室 近代の日本画		
〈絵 画〉〔前期展示〕		
小茂田 青樹	漁村早春	1921

小茂田 青樹	柿	1919頃
小林 古径	洗濯場 その1	1926
小林 古径	洗濯場 その2	1926
速水 御舟	西郊小景	1923
土田 麦僊	蓮華(下図)	1930
竹内 栖鳳	狐狸図	1908頃
山元 春挙	溪村暮靄図	1900頃
入江 波光	南欧小景	1923
村上 華岳	魔障之図	1923
村上 華岳	散華	1939
橋本 関雪	猿猴待月	1938頃
土田 麦僊	南国早春	1915
〈絵 画〉〔後期展示〕		
橋本 雅邦	秋景山水図	1887頃
横山 大観	飛泉	1900頃
菱田 春草	紅葉山水	1908
前田 青邨	江島詣	1917
川合 玉堂	湖畔晚帰	1928
伊東 深水	大島の黎明	1916
小杉 放菴	花鳥屏風	1944-1955頃
8室 3人の彫刻家 佐藤忠良・舟越保武・柳原義達		
〈彫 刻〉		
佐藤 忠良	レイ	1980
舟越 保武	シオン	1979

柳原 義達	黒人の女	1956
-------	------	------

柳原 義達	風の中の鴉	1982
-------	-------	------

〈素 描〉

佐藤 忠良	レイ	1980
-------	----	------

舟越 保武	シオンのためのエスキス	1979
-------	-------------	------

柳原 義達	風の中の鴉	1982
-------	-------	------

ロビーなど

〈水彩・素描〉

草間 弥生	無題 15	1952
-------	-------	------

草間 弥生	無題 16	1953
-------	-------	------

草間 弥生	女 33	1953
-------	------	------

草間 弥生	夜	1953
-------	---	------

草間 弥生	太陽	1953
-------	----	------

〈版 画〉

長谷川 潔	アレクサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930
-------	---------------------	------

浜口 陽三	黒いサクランボ	1961
-------	---------	------

駒井 哲郎	海底の祭	1951
-------	------	------

〈彫刻・立体〉

ジャーコモ・マンズー	踊りのステップ	1953
------------	---------	------

アレクサンダー・コールダー	ゴースト	1976 寄託作品
---------------	------	-----------

山口 勝弘	ヴイトリース	1955
-------	--------	------

時の旅人たち

〈絵 画〉

今村 幸生	風神図	1983 寄託作品
-------	-----	-----------

今村 幸生	雷神図	1983 寄託作品
-------	-----	-----------

荒川 修作	Blank Stations	1981-82
-------	----------------	---------

〈立 体〉

庄司 達	黄色い布による空間	1998
------	-----------	------

野田 祐示・岡本 敦生	《地殻―潜むかたち》	1996
-------------	------------	------

今井 瑾郎	大地	1982
-------	----	------

小田 襄	円柱の構造	1988
------	-------	------

■2001度 所蔵作品展 第Ⅲ期(2月8日-4月7日)

前室 学芸員お薦めのこの1点

エドワード・ジョン・ボインター	世界の若かりし頃	1891
-----------------	----------	------

4室 近代日本の美術

〈絵 画〉

高橋 由一	不忍池	1880頃
-------	-----	-------

山本 芳翠	西洋裸婦	1882頃
-------	------	-------

浅井 忠	八王子付近の街	1887
------	---------	------

黒田 清輝	暖き日	1897
-------	-----	------

梅原 龍三郎	横臥裸婦	1908
--------	------	------

安井 曾太郎	婦人像	1912頃
--------	-----	-------

中村 彝	少女裸像	1914
------	------	------

木村 莊八	壺を持つ女	1915
-------	-------	------

岸田 劉生	高須光治君之肖像	1915
-------	----------	------

小出 楯重	N婦人像	1918
-------	------	------

大沢 鉦一郎	大曾根風景	1919
--------	-------	------

河野 通勢	自画像	1919
-------	-----	------

国吉 康雄	帽子の女	1920
-------	------	------

宮脇 晴	お手玉の少女	1922
------	--------	------

清水 登之	建築現場	1923
-------	------	------

前田 寛治	褐衣婦人像	1925
-------	-------	------

長谷川 利行	酒売場	1927
--------	-----	------

中山 巍	スープを飲む老人	1927
------	----------	------

伊藤 廉	肘をつく女	1929
------	-------	------

小島 善太郎	房州風景	1930
--------	------	------

海老原 喜之助	雪山と樵	1930
---------	------	------

林 武	石膏像のある静物	1931頃
-----	----------	-------

佐分 真	アバッシュ・シャルボニエ	1931頃
------	--------------	-------

野口 弥太郎	門	1931頃
--------	---	-------

松下 春雄	子供と女	1932
-------	------	------

大沢 海蔵	編み物する女	1935頃
-------	--------	-------

北川 民次	メキシコ三童女	1937
-------	---------	------

安井 曾太郎	聖徳喇嘛廟	1938
--------	-------	------

5室 20世紀の美術

〈絵 画〉

藤田 嗣治	青衣の女	1925
ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
エドゥワール・ヴイヤー	窓辺の女	1898
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	日の当たる庭	1935
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
ジャコモ・パッラ	太陽の前を通過する水星(習作)	1914
ジャック・ヴィヨン	存在	1920
ベン・ニコルソン	1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933
パウル・クレー	女の館	1921
アメデオ・モディリアーニ	カリアティード	13
ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
ジョアン・ミロ	絵画	1925
ポール・デルヴォー	こだま	1943
ジャン・デュビュッフェ	二人の脱走兵	1953
ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海 I	1927
〈彫刻・立体〉		
アレクサンダー・アーチベンコ	歩く女	1912
レイモン・デュシャン=ヴィヨン	恋人たち	1913

〈絵 画〉

サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
アド・ラインハート	No. 114	1950
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
フランク ステラ	River of Ponds IV	1969
〈彫刻・立体〉		
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66

新収蔵作品展

〈絵 画〉

三尾 公三	Palm Beach 昼下り	1989
三尾 公三	画室の女	1990
稲垣 考二	陽光	1990
稲垣 考二	光の帯	1998

〈立 体〉

久野 真	銅鉄による作品	1959
久野 真	銅鉄による作品 #272	1975
土谷 武	いきもの II	1985
庄司 達	白い布による空間 '68-2	1979(1968)

6室 テーマ展 ボイジャー 杉戸洋展

杉戸 洋	the Wave	2002
杉戸 洋	the Second Lounge	2002
杉戸 洋	the Rainbow Wall	2002
杉戸 洋	the Tub	2002

7室 新収蔵作品展

〈日本画〉

小川 芋銭	沼四題 檜原	1922
小川 芋銭	沼四題 泥鰌打	1922
小川 芋銭	沼四題 家鴨小屋	1922
小川 芋銭	沼四題 小蝦網	1922
前田 青邨	朝鮮五題 魚売	1939
前田 青邨	朝鮮五題 水汲	1939

〈洋 画〉

須田 剋太	東大寺	1981
須田 剋太	東大寺落慶供養	1987
須田 剋太	遊女之図	1988
須田 剋太	鏡獅子	1989
横井 礼以	三つ面	1953

8室 新収蔵作品展

〈版 画〉

森岡 完介	人は何処へ 77-3	1977
森岡 完介	人は何処へ 78-16	1978
森岡 完介	Message 82-4P	1982
森岡 完介	Message 82-4N	1982
森岡 完介	Beethoven at the beach-Message 86-11P	1986
森岡 完介	Beethoven at the beach-Message 86-11N	1986

〈素 描〉

稲垣 考二	横たわる人	1993
-------	-------	------

稲垣 考二	腰掛けるポーズ	1995
-------	---------	------

〈日本画〉

三岸 節子	南国の花	1995
-------	------	------

藤島 奨	百花	1994
------	----	------

片岡 球子	牡丹	1996
-------	----	------

島田 章三	少女と鳥	1992
-------	------	------

ロビーなど

〈絵 画〉

山口 長男	庭	1935
-------	---	------

〈日本画〉

小川 博史	蘭	1993
-------	---	------

上原 欽二	向日葵	1991
-------	-----	------

〈彫刻・立体〉

山口 勝弘	ヴィトリース	1955
-------	--------	------

ジャーコモ・マンズー	踊りのステップ	1953
------------	---------	------

アレクサンダー・コルダ	片肘ついて	1944
-------------	-------	------

アレクサンダー・コルダ	ゴースト	1976 寄託作品
-------------	------	-----------

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

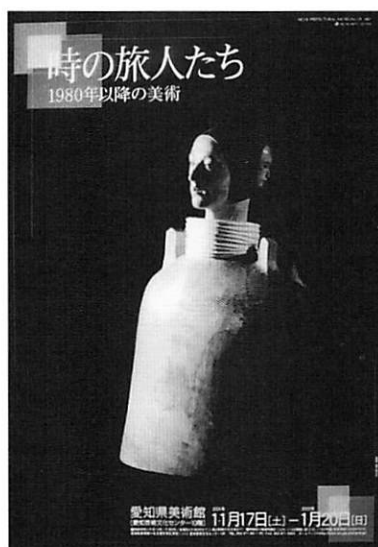
コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983
-------------	-------	------

アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984
-------------	-------	------

加藤 昭男	大地	1986
-------	----	------

小田 襄	円柱の構造	1988
------	-------	------

今井 瑾郎	大地	1992
-------	----	------



「時の旅人たち」展関連記事

(子) 「戸谷成雄〈森〉」

『中日新聞』夕刊、平成13年12月17日

無署名 「Look & るっく」

『日本経済新聞』夕刊、平成13年12月20日

浅野徹 「緊張感漂う 同時代作品群」

『日本経済新聞』夕刊、平成14年1月10日

小企画展(テーマ展示)

杉戸洋展 ボイジャー

会 期 2002年2月8日～4月7日

会 場 展示室6

担 当 拝戸雅彦

出品作品

1

the Rainbow Wall

204.5×332.0cm

アクリル絵具、画布

2002年

2

the Second Lounge

268.5×415.5cm

アクリル絵具、画布

2002年

3

the Wave

230.5×340.5cm

アクリル絵具、画布

2002年

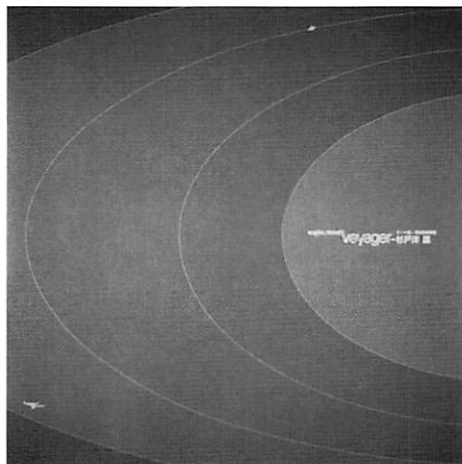
4

the Tub

38.0×45.5cm

アクリル絵具、紙

2002年



1970年に名古屋市に生まれ、1992年に愛知県立芸術大学を卒業した杉戸は、パーソナルな世界を出発点に、見るものに自由な空想と物語りを喚起する新しい絵画感覚で、90年代に登場してきたアーティストの一人として評価され、国内のみならず、海外でも多くの個展やグループ展へ参加し、広く知られている。

杉戸が今回、新作として発表した大作3点と小品1点のいずれも、当館の会場（展示室6）の大きさにあわせて制作された。入って左手奥の大きな壁面に、隆起した地層のような色の層が不思議な《the Rainbow Wall（虹の壁）》（no.1）。中央の壁面には富士山のようにも見える山を中心とした山並みが印象的な《the Second Lounge（二つ目のラウンジ）》（no.2）。そして右手の壁面には白を全体の基調として、ほぼ画面中央の格子に

吸い込まれていくような壁と、下から波が壁に打ち寄せているようにも見える《the Wave (波)》(no.3)。(1)隆起=虹の七色(2)上昇=山(3)白色=窓、の流れには、始まりークライマックス=終わり、といった物語り展開がかいま見える。小さな風呂タブが描かれた《the Tub (バスタブ)》(no.4)は、この展開の中では、小さな挿話(エピソード)と見なしてよいだろう。

杉戸が描く絵画世界が一見して空っぽの舞台のように見えるのは、人の姿が不在なのと、舞台の大きさに対してモチーフが小さく描かれているためである。我々が通常の視覚で行なうように、一つのモチーフを相対的な基準にして全体のスケールを導き出そうとすると、我々は巨人になったような気にもなるが、一方でそれぞれのモチーフを注視していると、小人になったような感じも受ける。こうして我々は、極小のスケールと極大のスケールに従いながら、モチーフとモチーフの間をさまよい歩くことになるのだ。

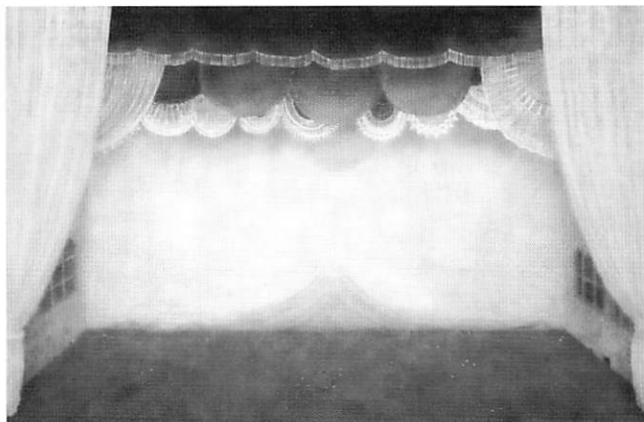
しかも、白く霧がかかったような全体の表面マチエールが、視線が最終的に辿り着くべき焦点をわかりにくくしている。たとえ、視線を集中させる機能を持つ幕が両側に引かれていても、さらには画面中央に向かうにつれて幅が狭くなる格子状の舗床がおのずと我々の目を中央に導いていったとしても、視線はそこにとどまることのないのだ。

と同時に、絵の中に描かれた三面の壁が、こちら側には開かれているものの、向こう側の外界に対しては閉ざされた世界を感じさせるが、その容れ物的世界には、数多くの小さな抜け穴や窓らしきものが描かれていて、向こう側に隠れることができたり、光が浸透しているようになっている。包み込むような全体の枠組構造と小さな穴、あるいは窓の対比が、外側に対する「閉ざされ」と、小さな、あるいはかすかな「開かれ」とを示している。

この意味で、杉戸の絵は人々の感覚をどこまでも絵画表面から滑らせていき、迷い込ませていくような多くの仕掛けを含んでいると言えるのだ。

もう一つの仕掛けは、壁に描かれたモチーフが画中画めいていることだろう。《the Second Lounge》で中央に見える山は、子犬のような視点を獲得した我々には、山だろうか、それとも、壁画だろうか。

今回の作品には、美術館で同時に開催されているボンペイ展を意識したモチーフや色も登場している。《the Rainbow Wall》の手前の噴水や地層の隆起、《the Second Lounge》での床のボンペイカラーに近い色と、噴火したヴェズーヴィオ山を思わせる山並み。そうすると、《the Wave》はナポリ湾に寄せる地中海の波だろうか。杉戸の作品構造は、こうした「異物」を受け入れても、全体として破綻することがない。何故なら、



《the Second Lounge》2002年
アクリル絵具、画布 268.5×415.5cm

極小と極大の感覚、焦点と焦点のなさ、「開かれ」と「閉ざされ」の間で浮遊する杉戸の絵画は、空っぽのように見えてさまざまな現象を受け入れる豊かで堅固な形式を獲得しているからである。

ちなみに、展覧会のタイトルとなっているボイジャーとは、アメリカが打ち上げて太陽系を脱出中の惑星探索機の名であると同時に、杉戸が飼っているテリアの愛犬名である。ここでも、人類の壮大な宇宙冒険の世界と、子犬が行なうアトリエ冒険の世界とが交差している。

カタログ B4 変形 6 頁

テキスト 拝戸雅彦「杉戸洋の底抜けの容れ物」

編集 拝戸雅彦

発行 愛知県美術館

関連記事

(子) 「杉戸洋展」

『中日新聞』夕刊、平成14年2月25日

企画展

『メルツバッハー・コレクション展』

The Merzbacher Collection

会 期 2001年 4月13日（金）～5月27日（日） 39日間
主 催 愛知県美術館／中日新聞社／中部日本放送
後 援 スイス大使館／愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各
教育委員会
協 力 日本航空
観覧料 一般1,200円、高校・大学生900円、小・中学生600円
（前売り・団体は200円引き）
担 当 古田浩俊／村上博哉／藤島美菜

内 容 出品点数：87点

色彩の鮮やかな絵を愛するスイスの実業家ヴェルナー・メルツバッハー夫妻が収集したヨーロッパ近代美術のコレクションは、ルノワール、ゴッホ、マチス、モディリアーニら近代の巨匠たちの傑作を含み、個人の収集品としては世界の最高水準にあるといえるもの。この展覧会は、フォーヴィスムとドイツ表現主義の色彩鮮やかな作品群を中心に、同コレクションから選んだ87点の絵画を展示し、印象派から20世紀前半までの近代絵画の流れを辿った。

展覧会カタログ A4判変形（29.8×23.0cm） 236ページ

テキスト ステファニー・ラッカム（村上博哉訳）

「メルツバッハー夫妻とそのコレクション」

千足伸行「近代絵画と色彩：ドラクロワからフォーヴィスム、表現主義へ」

カタログ 章解説・作品解説

第一章 印象派からフォーヴィスムまで 中島啓子
（作品解説：中島）

第二章 ドイツ表現主義 大野正勝
（作品解説：大野、佐々木一成、根本亮子）

第三章 現実を超えて 古田浩俊
（作品解説：古田、村上）

編集 愛知県美術館／安田火災東郷青児美術館／
山口県立美術館・浦上記念館／岩手県立美術館／
東京新聞

制作 印象社

発行 東京新聞

関連事業

学芸員による展示説明会（ギャラリー・トーク）

第1回 2001年 4月14日（土）午前11時から 講師：村上

第2回 2001年 4月21日（土）午前11時から 講師：古田



- 第3回 2001年4月27日（金）午前11時から 講師：村上
- 第4回 2001年5月11日（金）午前11時から 講師：古田
- 第5回 2001年5月18日（金）午前11時から 講師：藤島
- 第6回 2001年5月25日（金）午前11時から 講師：藤島

小・中・高校の先生方への展示説明会

2001年4月21日（土）午後1時30分から 講師：藤島

友の会会員のための特別鑑賞会

2001年4月19日（木）午後5時から 講師：古田

総入場者数 47,245人（1日平均入場者数：1,211人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
愛知県美術館	2001年4月13日～5月27日	47,245人	1,211人
安田火災東郷青児美術館	2001年6月2日～7月22日	39,475人	897人
山口県立萩美術館・浦上記念館	2001年7月28日～9月28日	60,012人	953人
岩手県立美術館	2001年10月6日～11月11日	27,949人	847人

主要関連記事

【新聞】

- 絹谷幸二 「生命を解き放つ色彩」
『中日新聞』2001年4月12日朝刊
- 城戸真亜子 「弾む光と色と・・・1《ヴァル・ド・ファレーズ》
クロード・モネ」
『中日新聞』2001年4月12日夕刊
- 松井龍哉 「弾む光と色と・・・2《座るジャンヌ・エビュテ
ルヌ》モディリアーニ」
『中日新聞』2001年4月13日夕刊
- 青木義博 「弾む光と色と・・・3《ムルナウ コールグレー
バー通り》カンディンスキー」
『中日新聞』2001年4月14日夕刊
- 島田鮎子 「弾む光と色と・・・4《コリウールの港の舟》ア
ンドレ・ドラン」
『中日新聞』2001年4月17日夕刊
- 古田浩俊 「色彩の遊び①《色彩と黒い線による構成》パウル・クレー」
『中日新聞』2001年4月24日朝刊
- 村上博哉 「色彩の遊び②《二人（貧しき者たち）》パブ
ロ・ピカソ」
『中日新聞』4月25日朝刊
- 村上博哉 「色彩の遊び③《コリウールの室内（昼寝）》ア
ンリ・マティス」
『中日新聞』4月26日朝刊
- 古田浩俊 「色彩の遊び④《バラ色の二人の裸婦、モーリッ



ツブルク湖畔にて》キルヒナー」

『中日新聞』4月27日朝刊

村上博哉 「色彩の歡び⑤《レスタック》ジョルジュ・ブラ
ック」

『中日新聞』4月28日朝刊

千足伸行 「メルツバッハー・コレクション展に寄せて」

『中日新聞』2001年5月10日夕刊

持田則子 「輝く色彩 巨匠たちとの出会い」

『中日新聞』5月14日夕刊

長谷川三郎 「まばゆい色彩 愛好家の情熱」

『日本経済新聞』2001年5月24日夕刊

「ロダン美術館浮世絵コレクションについて」

神谷浩

「ロダンと浮世絵—『白樺』同人による浮世絵寄贈の経緯」

飯田真

第5章 ロダンが蒐集した日本の美術工芸品

「ジャポネズリ：オーギュスト・ロダンの日本趣味」

ベネディクト・ガルニエ

「日本側から見たロダンの日本美術工芸品コレクションの特徴」

深山孝彰

第6章 稲垣とロダン

「日本における稲垣吉蔵」

泰井良

「石と木—ロダンのもとで働いた日本の指物師」

ベネディクト・ガルニエ

第二部 日本に対するロダンの影響

第1章 『白樺』同人とロダン

「ロダンの『白樺』同人への贈物」

栗田秀法

第2章 大正期における日本人ロダン蒐集家

「大正期日本のロダンの蒐集家群像：1912—1927」

下山肇

第3章 松方コレクション

「松方とロダン美術館：あるコレクションをめぐる厄災」

クリスティナ・ビュレイ・ウリブ

「＜松方＞のオディッセイア終章—戦後外交文書を読む」

長谷川三郎

第4章 日本近代彫刻とロダン

「日本の近代彫刻とロダン」

千田敬一

ロダン美術館所蔵版画関係総目録（神谷浩編）

ロダン美術館関係日本美術工芸品総目録（深山孝彰編）

稲垣吉蔵関連の書簡

ロダンと日本の交流に関連した人物・団体の一覧

「ロダンと日本」関連年表

日本にある主なロダン彫刻

展覧会歴

主題別文献目録

出品リスト



編集 愛知県美術館／静岡県立美術館

発行 現代彫刻センター

関連事業

記念トーク

クローディー・ジュドラン（フランス国立ロダン美術館素描部長、本展総括コミッショナー）

6月22日（金）午前10時30分から

記念講演会

第1回「ロダンの日本」長谷川三郎（愛知県美術館長）

6月30日（土）午後1時30分から午後3時まで

第2回「ロダンと鴎外、漱石、光太郎」平川祐弘（福岡女学院大学教授）

7月7日（土）午後1時30分から午後3時まで

記念コンサート（助成：野村国際文化財団）

「ロダン受容と明治の洋楽」

6月29日（金）午後7時から

「音楽におけるジャポニスム」

6月30日（土）午後5時から

学芸員による展示説明会（ギャラリー・トーク）

第1回 2001年6月23日（土）午前11時から 講師：深山

第2回 2001年7月14日（土）午前11時から 講師：深山

第3回 2001年7月27日（金）午前11時から 講師：栗田

第4回 2001年8月10日（金）午前11時から 講師：栗田

小・中・高校の先生方への展示説明会

2001年6月30日（土）午後3時から 講師：栗田

友の会会員のための特別鑑賞会

第1回 2001年6月26日（火）午後5時から 講師：栗田

第2回 2001年7月9日（月）午前10時から 講師：深山

総入場者数：57,339人（1日平均入場者数：1,124人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
静岡県立美術館	2001年4月28日～6月10日	26,464人	696人
愛知県美術館	2001年6月22日～8月19日	57,339人	1,124人

主要関連記事

【雑誌記事】

無署名 「里帰り初公開 ロダンの愛した江戸絵」『サライ』2001年9号

高橋治 「主題の重層ーロダンと日本展」『季刊銀花』127（2001）

無署名 「ロダンの愛した日本 日本が憧れたロダン」『美術画報』2001年4号

"La Chronicle des Arts: Rodin et le Japon", *Gazette des Beaux-Arts*, 1590（2001）

【新聞】

- 田中三蔵 「ロダンと日本展 執拗で透徹した人間探求」
『朝日新聞』2001年5月17日夕刊
- (前) 「ロダンと日本展 創造高めた異文化接触」
『読売新聞』2001年6月5日夕刊
- (昇) 「影響与え影響されたロダンと日本」
『中日新聞』2001年6月30日夕刊
- 森村泰昌 「花子のマスク 異端が正統へ転換するスゴミ」
『毎日新聞』2001年7月24日夕刊
- 生田義夫 「ロダンと花子誕生秘話」
『読売新聞』2001年7月27日朝刊
- 高階秀爾 「ロダンと日本展とマネ展」
『朝日新聞』2001年8月2日夕刊
- 山口泰二 「日本好きとロダン好きの接点」
『しんぶん赤旗』2001年8月8日
- 長谷川三郎 「ロダンと日本展 モデルの魂刻む肖像」
『日本経済新聞』2001年8月9日夕刊

【テレビ】

- 「ロダン 生と死の造形」NHK新日曜美術館、2001年8月5日
(出演：長谷川三郎他)

『バックミンスター・フラー展』

Buckminster Fuller

会 期 2001年9月14日（金）～11月4日（日）

主 催 愛知県美術館／読売新聞中部本社／中京テレビ放送／
美術館連絡協議会／チューリッヒ・デザイン美術館

後 援 アメリカ大使館／名古屋アメリカン・センター／日本
建築学会／日本建築家協会／愛知県・岐阜県・三重県・
名古屋市各教育委員会

協 力 バックミンスター・フラー研究所／エステイト・オブ・
バックミンスター・フラー

特別協力 シナジェティクス研究所

協 賛 花王株式会社／エーエムアール・メディアクエスト株
式会社

観覧料 一般1,100円、高校・大学生800円、小・中学生500円
（前売り・団体は200円引き）

担当学芸員 村上博哉、高橋秀治

内容 出品点数：400点

ドーム建築のパイオニアとして知られるリチャード・バック
ミンスター・フラーは、最小限のエネルギーと素材により最大
の効率を得るという理念のもとに、工業デザイン、建築、都市
計画において数々の独創的なプロジェクトを発表した奇想の科
学者であった。この展覧会は、バックミンスター・フラーの先
駆的な思想とその業績を、立体モデル、図面、ドローイング等
の多様な資料によって紹介した。

展覧会カタログ 変形B5判（24.4×16.6cm） 528ページ

日本語版編集／神奈川県立近代美術館、愛知県美術館、ワタリ
ウム美術館

関連事業

記念講演会

9月22日（土）午後1時30分～午後3時

演題 「フラーと21世紀」

講師 阿竹克人（建築家）

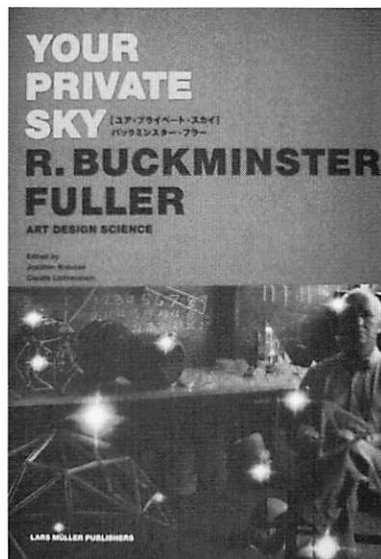
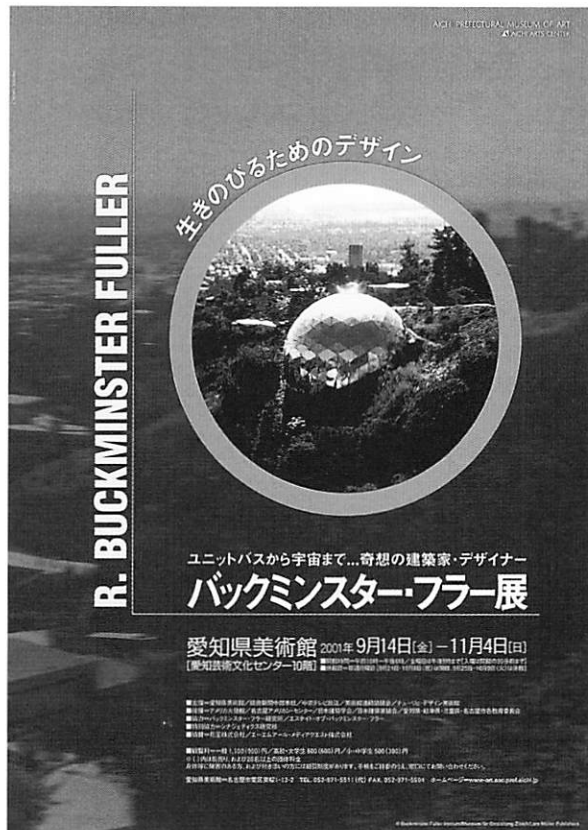
学芸員による展示説明会

9月29日（土）午前11時から 講師：村上

10月6日（土）午前11時から 講師：高橋

10月13日（土）午前11時から 講師：村上

10月20日（土）午前11時から 講師：高橋



小・中・高校の先生方への展示説明会
9月22日（土） 午後3時30分から 講師：高橋

友の会鑑賞会
第1回 9月20日（木）午後5時30分から 講師：村上
第2回 9月25日（火）午前10時から 講師：村上

総入場者数：10,962人（1日平均：244人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
神奈川県立近代美術館	2001年6月2日～9月2日	22,080人	279人
愛知県美術館	2001年9月14日～11月4日	10,962人	244人
ワタリウム美術館	2001年11月29日～2002年5月12日	—	—

主要関連記事

- 【新聞】
- 村上博哉 「バックミンスター・フラー展 幸福に生きるためのデザイン」
『読売新聞』（中部版）2001年9月13日朝刊
- 速水史朗 「人の幸せのためのアート＜紙つぶて＞」
『中日新聞』2001年10月6日夕刊
- 長谷川三郎 「バックミンスター・フラー展 デザイン科学 現代に問う」
『日本経済新聞』2001年10月11日夕刊
- 無署名 「宇宙船地球号のエンジンに」
『日刊工業新聞』2001年10月30日



『世界遺産 ポンペイ展』—古代ローマ文明の輝き—

会 期 2002年2月8日（金）～4月7日（日） 51日間
主 催 愛知県美術館／朝日新聞社／名古屋テレビ放送／岐阜新聞・岐阜放送
後 援 外務省／イタリア大使館／日本におけるイタリア年財団／日本ユネスコ協会連盟／愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
特別協賛 凸版印刷株式会社
協 賛 Enel
協 力 アリタリア航空会社／ゼネラル保険会社／日本通運株式会社／名古屋鉄道株式会社／JR東海／名古屋市交通局
学術協力 東京大学象形文化研究拠点
観覧料 一般1,100円、高校・大学生800円、小・中学生500円
（前売り・団体は200円引き、ファミリー券を設定）

担当学芸員 木本文平／村田真宏／坪戸雅彦

内容 出品点数：360点

イタリア南部の古代都市ポンペイは、ローマ帝国有数の都市として栄えながら、ヴェスヴィオ山の噴火によって地に埋もれ、18世紀の発掘によって再発見された。この展覧会は、古代フレスコ画や彫刻等の美術工芸品、科学器具、日用品など360点を展示し、高い水準を誇った芸術、科学技術から当時の人々の日常の暮らしまで、ポンペイの都市文明の全体像を再現するものであった。会場は展示品のほかコンピュータ・グラフィックス等による解説を加え、鑑賞者により理解しやすいものとなった。

展覧会カタログ A4判変形（29.0×22.6cm） 224ページ

監修 青柳正規

編集 朝日新聞社文化企画部

発行 朝日新聞社

関連事業

記念講演会

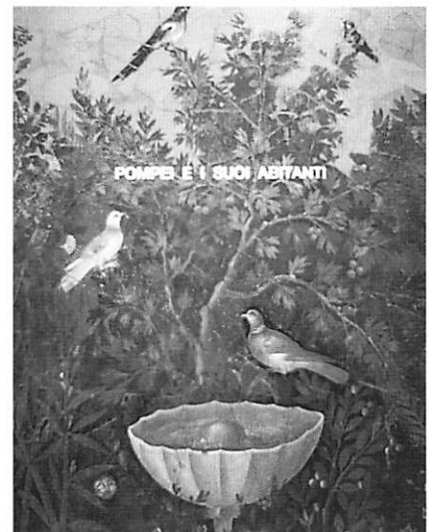
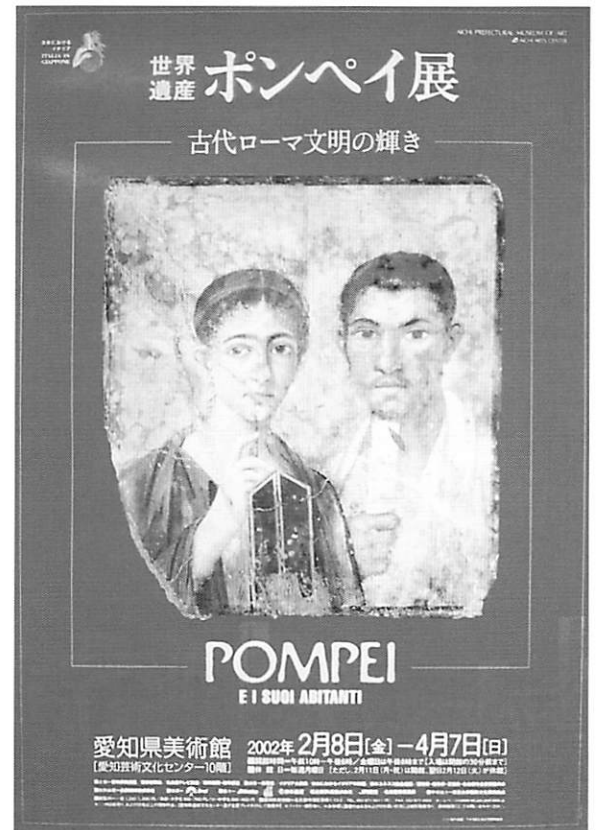
2月23日（土） 午後1時30分～午後3時

演題「世界遺産 ポンペイの魅力」

講師：青柳正規（東京大学教授）

小・中・高校の先生方への展示説明会

2月23日（土） 午後4時から 講師：木本



学芸員による展示説明会（スライド・レクチャー）

午後 1 時30分から（50分程度）

2 月 9 日（土） 講師：木本

2 月16日（土） 講師：木本

2 月28日（木） 講師：雪山

3 月 9 日（土） 講師：雪山

3 月23日（土） 講師：木本

3 月28日（木） 講師：木本

午後 6 時から（50分程度）

2 月22日（金） 講師：木本

3 月15日（金） 講師：木本



親子鑑賞会（スライド・レクチャー）

午前10時から（30分）

3 月23日（土） 講師：藤島

3 月31日（日） 講師：藤島

友の会鑑賞会

2 月21日（木） 講師：雪山

2 月25日（月） 講師：雪山

総入場者数 101,367人（1日平均：1,988人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
江戸東京博物館	2001年 8 月 7 日～10月28日	388,147人	5,391人
神戸市立博物館	2001年11月10日～2002年1月27日	127,872人	2,030人
愛知県美術館	2002年 2 月 8 日～4 月 7 日	101,367人	1,988人
鹿児島市立美術館	2002年 4 月16日～5 月29日	41,963人	1,076人
島根県立美術館	2002年 6 月 7 日～7 月21日	29,104人	766人

主要関連記事

【新聞】

松本仁一 「《パン屋の夫婦》ポンペイ展 1」

『朝日新聞』2002年 1 月29日夕刊

松本仁一 「《メナンドロスの首飾り》ポンペイ展 2」

『朝日新聞』2002年 1 月30日夕刊

松本仁一 「《パッカスとヴェスヴィオ山》ポンペイ展 3」

『朝日新聞』2002年 1 月31日夕刊

松本仁一 「《犠牲者の石こう型》ポンペイ展 4」

『朝日新聞』2002年 2 月 1 日夕刊

松本仁一 「《ガラスの浮き彫り》ポンペイ展 5」

『朝日新聞』2002年 2 月 2 日夕刊

木本文平 「ポンペイ展に寄せて」

『岐阜新聞』2002年 2 月 4 日



- 藤沢桜子 「《黒曜石の杯》ポンペイ展から 1」
『朝日新聞』2002年2月16日朝刊
- 藤沢桜子 「《震災後の情景をあらわす浮き彫り》ポンペイ展から 2」『朝日新聞』2002年2月17日朝刊
- 藤沢桜子 「《庭園の風景》ポンペイ展から 3」
『朝日新聞』2002年2月18日朝刊
- 藤沢桜子 「《ヘイファイストスの工房》ポンペイ展から 4」
『朝日新聞』2002年2月20日朝刊
- 藤沢桜子 「《日時計》ポンペイ展から 5」
『朝日新聞』2002年2月21日朝刊
- 藤沢桜子 「《治療場面の浮き彫り》ポンペイ展から 6」
『朝日新聞』2002年2月22日朝刊
- 藤沢桜子 「《混酒器》ポンペイ展から 7」
『朝日新聞』2002年2月24日朝刊
- 小野高道 「ポンペイを愛する人たち①修復士」
『朝日新聞』2002年3月2日夕刊
- 小野高道 「ポンペイを愛する人たち②警備員」
『朝日新聞』2002年3月5日夕刊
- 小野高道 「ポンペイを愛する人たち③考古学者」
『朝日新聞』2002年3月6日夕刊
- 小野高道 「ポンペイを愛する人たち④発掘責任者」
『朝日新聞』2002年3月7日夕刊
- 小野高道 「ポンペイを愛する人たち⑤博物館員」
『朝日新聞』2002年3月9日夕刊
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から①パン屋の夫婦」『岐阜新聞』2002年3月4日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から②庭園の風景」『岐阜新聞』2002年3月8日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から③メナンドロスの首飾り」『岐阜新聞』2002年3月12日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から④カメオ技法によるガラスの浮き彫り」
『岐阜新聞』2002年3月17日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から⑤リコッタチーズとアスパラガスの静物」
『岐阜新聞』2002年3月20日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から⑥馬の装飾品」『岐阜新聞』2002年3月22日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から⑦治療場面の浮き彫り」『岐阜新聞』2002年3月24日
- 木本文平 「古代ローマの生活 ポンペイ展から⑧天球儀の模型」『岐阜新聞』2002年3月28日
- 無署名 「最近発掘事情 上」
『朝日新聞』2002年3月5日朝刊

無署名	「最近発掘事情 中」 『朝日新聞』2002年3月6日朝刊
無署名	「最近発掘事情 下」 『朝日新聞』2002年3月7日朝刊
糸井重里	「私のポンペイ論①」 『朝日新聞』2002年3月13日朝刊
島田章三	「私のポンペイ論②」 『朝日新聞』2002年3月14日朝刊
川崎和男	「私のポンペイ論③」 『朝日新聞』2002年3月15日朝刊
茂登山清文	「私のポンペイ論④」 『朝日新聞』2002年3月16日朝刊
黒川紀章	「私のポンペイ論⑤」 『朝日新聞』2002年3月18日朝刊
岸 朝子	「私のポンペイ論⑥」 『朝日新聞』2002年3月19日朝刊
奥宮正哉	「私のポンペイ論⑦」 『朝日新聞』2002年3月20日朝刊
山田登世子	「私のポンペイ論⑧」 『朝日新聞』2002年3月22日朝刊
周藤芳幸	「ポンペイ 誘惑する古代遺跡」 『朝日新聞』2002年3月20日夕刊

移動美術館

教育普及活動の一環として、名古屋地域から遠隔にある県内各地に所蔵作品を移動展示し、併せて講演会などの事業を行う移動美術館を年1回開催している。これまで7回し、本年度は田原町で開催した。

- 第1回 1995年度 南知多町総合体育館・サブアリーナ
- 第2回 1996年度 足助町トレーニングセンター
- 第3回 1997年度 渥美町郷土資料館
- 第4回 1998年度 奥三河総合センター体育館（設楽町）
- 第5回 1999年度 吉良町農村環境改善センター
- 第6回 2000年度 新城文化会館
- 第7回 2001年度 立田村総合体育館

名称：愛知県美術館 平成13年度 移動美術館
「特別展 近代美術の楽しみ—自然のかたち、人のかたち—」

主催：愛知県美術館、財団法人愛知県文化振興事業団、
田原町、田原町教育委員会、田原町博物館

会期：平成13年 7月7日（土）～8月5日（日）
＜月曜日は休館＞

会場：田原町博物館

観覧料：無料

担当学芸員：村田真宏、古田浩俊、栗田秀法

観覧者数：5,500人

展示内容および展示点数：

明治期の高橋由一などから今日に至る日本の洋画に、立体と海外の作品を加えた46点で、20世紀美術における自然や人間の表現の変遷を紹介。

【企画展示室1】

高橋由一	不忍池	1880年頃
黒田清輝	花と猫	1906年
梅原龍三郎	横臥裸婦	1908年
坂本繁二郎	海岸の家	1915年
宮脇晴	自画像	1920年
大沢鉦一郎	大曾根風景	1919年
萬鉄五郎	水郷風景	1926年
佐分真	裸婦	1925年頃
伊藤廉	ギター奏手	1932年
鬼頭鍋三郎	浴後	1938年

特別展

愛知県美術館 平成13年度 移動美術館

近代美術の楽しみ

—自然のかたち、人のかたち—



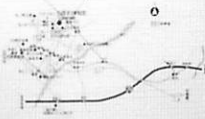
平成13年
7月7日（土）—8月5日（日）
午前9時—午後5時（ただし7月7日は午前10時30分から）月曜日休館

田原町博物館

渥美郡田原町大字田原字巴江11-1

主催＝愛知県美術館／（財）愛知県文化振興事業団
田原町・田原町教育委員会・田原町博物館
お問い合わせ＝田原町博物館 TEL:0531-22-1720

入場無料



荻須高徳、三岸節子、平川敏夫、北川民次など、愛知県美術館所蔵の洋画、日本画、版画、彫刻約40点



里見勝蔵	裸婦	1930年
北川民次	南国の花	1940年
中川一政	マジョリカ壺の向日葵	1968年頃
矢橋六郎	牡丹	1946年
三岸節子	魚とインカの壺	1952年
海老原喜之助	雪山と樵	1930年
森芳雄	女たち	1954年
岡鹿之助	窓	1949年
荻須高德	サンドニ	1964年
小磯良平	婦人像	1965年
山本文彦	野	1984年
ジャン・デュビュッフェ	二人の脱走兵	1953年
ジョーゼフ・アルパース	正方形頌	1962年
瑛九	黄色い花	1957年
難波田龍起	萌	1961年
上田薫	なま玉子G	1976年
三尾公三	鏡の前	1982年
須田昶太	作品1984曼荼羅	1984年
元永定正	作品	1961年
パブロ・ピカソ	レオニー嬢	1910年
パブロ・ピカソ	男と犬	1914年
戸張孤雁	煌めく嫉妬	1924年
高田博厚	女のトルソ	1937年
柳原義達	黒人の女	1956年
本郷新	無辜の民「油田地帯」	1970年
堀内正和	四角と丸の組み合わせb	1956年

【企画展示室2】

小林古径	洗濯場その2	1926年
小林古径	洗濯場その1	1926年
藤井達吉	樹	1957年
平川敏夫	萌林	1960年
広田多津	ひとり	1982年
守屋多々志	聴聞（北条政子）	1980年
星野真吾	正夢か	1981年
中村正義	顔	1976年
中村正義	顔	1976年
川崎小虎	四季草花野菜絵巻	1945年頃

教育普及事業：

記念講演会：7月7日（土） 長谷川三郎

会場：華山会館

展示解説：（一般）

7月7日（土）、7月14日（土）、7月22日（日）

いずれも午後1時30分から2時30分まで

（学校団体）

田原町内の小・中学校を中心に実施



作品の収集

1 収集方針

- ・ 20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・ 現在を刻印するにふさわしい作品
- ・ 愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・ 上述の作品・作家を理解する上で役立つ資料

2 収集委員会の開催

- ・ 第1回収集委員会 2001年11月27日
- ・ 第2回収集委員会 2001年12月14日～20日（持ち回りによる）

3 収集の状況

平成11年度収集委員会承認作品7点のうち3点の作品を購入し、24点の作品寄贈と11点の管理換え（財産管理課・高齢福祉課）を受けた。

美術品等収集状況

	01年度までの収集				01年度			総計		
	愛知県文化会館美術館	新美術館準備	開館後	計	購入	寄贈	計 (管理替えを含む)	購入	寄贈	計
<国内>										
日本画(JJ)	149	45	16	210	0	14	14	136	88	224
洋画(JO)	378	59	44	481	0	12	12	389	104	493
水彩・素描(JO)	309	134	14	457	0	1	1	377	81	458
立体(JS)	23	38	21	82	3	6	9	75	16	91
版画(JP)	101	207	48	356	0	2	2	319	39	358
資料(JM)	4	1	5	10	0	0	0	0	10	10
工芸その他	70	0	0	70	0	0	0	39	31	70
小計	1034	484	148	1666	3	35	38	1335	369	1704
<海外>										
絵画(FO)	15	24	10	49	0	0	0	45	4	49
水彩・素描(FD)	0	4	4	8	0	0	0	8	0	8
立体(FS)	6	13	8	27	0	0	0	25	2	27
版画(FP)	1	65	8	74	0	0	0	73	1	74
インスタレーション(FI)	0	0	2	2	0	0	0	2	0	2
資料(FM)	0	1	1	2	0	0	0	1	1	2
小計	22	107	33	162	0	0	0	154	8	162
合計	1056	591	181	1828	3	35	38	1489	377	1866
藤井達吉コレクション	1460	—	—	1460				—	1460	1460
総計	2516	591	181	3288				1489	1837	3326

※表の注記
愛知県文化会館美術館の収集は1987年度まで行われた。新美術館のための収集は、愛知県文化会館建設事務局および文化振興局において、1987年4月から1992年10月30日の開館まで行われた。開館後の収集とは1993年度以降のものを指す。なお、藤井達吉コレクションとは、愛知県文化会館美術館の開館時（1955年）に藤井達吉氏により寄贈された同氏の作品および同氏が収集した絵画・工芸などを指す。

2001年度新収蔵作品

愛知県美術館では、コレクションの充実をはかるべく継続して収集を続けています。1988年の美術品等取得基金の設置以来、コレクション充実に努めてまいりました。その間多くの団体や個人の方々から作品の寄贈や資金の援助を受けております。今年度の収集にあたり、稲垣考二氏、木村定三氏、土谷武氏、三尾啓氏、森岡完介氏、名古屋名城ライオンズクラブそして愛知県美術館友の会よりご寄贈いただきました。今後とも県民の皆様への暖いご理解ご支援をお願いいたします。

〈日本画〉

河原勇夫

喜雀
Sparrows

1988年 紙本着色
掛幅装 17.4×53.7cm
inscribed lower right: 勇夫
marked lower right: 男
健康福祉部高齢福祉課より管理換
JJ200100001000



島田章三

少女と鳥
Girl and Bird

1992年 紙本着色
16.8×52.1cm
inscribed lower right: Shozo
健康福祉部高齢福祉課より管理換
JJ200100004000



布施伸介

喜獅子
Lion

1989年 紙本着色
掛幅装 17.8×52.6cm
marked lower right: 介
健康福祉部高齢福祉課より管理換
JJ200100002000



小川博史

蘭
Orchid

1993年 紙本着色
17.0×52.3cm
marked lower left: 博
健康福祉部高齢福祉課より管理換
JJ200100005000



上原欽二

向日葵
Sunflower

1991年 紙本着色
17.1×52.2cm
inscribed lower right: 欽二
marked lower right: 欽
健康福祉部高齢福祉課より管理換
JJ200100003000



藤島奨

百花
Flowers

1994年 紙本着色
16.8×52.2cm
inscribed lower right: sho
健康福祉部高齢福祉課より管理換
JJ200100006000



[凡例]

- ・各作品は、JJ (日本画)、JO (洋画)、JP (日本の版画)、JD (日本の水彩・素描)、FO (海外の絵画)、FS (海外の立体)、FP (海外の版画)、FI (海外のインスタレーション)、FM (海外の資料) に分けられたうえで、作家姓の五十音順 (日本の作品) ないしはアルファベット順 (海外の作品) に配列され、同一作家による複数の作品については、制作年、次いで作品名の五十音ないしはアルファベットの順もしくはカタログ・レゾネの番号順に配されている。
- ・各作品に係る収蔵事項は以下の通り：
作家名 生歿年
作品名
制作年 技法・材質 寸法 (タテ×ヨコ (×奥行き))
初出の展覧会
収蔵種別 (購入、寄贈等) 所蔵番号

三岸節子

南国の花

Tropical Flowers

1995年 紙本着色

17.1×52.8cm

inscribed lower right: 節子

健康福祉部高齢福祉課より管理換

JJ200100007000



小川芋銭

沼四題 家鴨小屋

Four Marsh Scenes: Duck Coop

1922年 紙本墨画

65.3×92.9cm

inscribed lower right: 芋銭

marked lower right: 艸汁

木村定三氏寄贈 JJ200100011000



片岡球子

牡丹

Peony

1996年 紙本着色

17.0×52.8cm

inscribed lower right: 球子

marked lower right: 球

健康福祉部高齢福祉課より管理換

JJ200100008000



小川芋銭

沼四題 小鰕網

Four Marsh Scenes: Catching Shrimps

1922年 紙本墨画淡彩

65.3×94.7cm

inscribed lower right: 芋銭子

marked lower right: 艸汁

木村定三氏寄贈 JJ200100012000



小川芋銭

沼四題 檜原

Four Marsh Scenes: Hibara

1922年 紙本墨画淡彩

65.3×89.3cm

inscribed lower right: 芋銭

marked lower right: 艸汁

木村定三氏寄贈 JJ200100009000



前田青邨

朝鮮五題 魚売

Five Korean Scenes: Fish Sale

1939年 紙本墨画淡彩

65.0×90.0cm

inscribed lower left: 青邨

marked lower left: 青邨

木村定三氏寄贈 JJ200100013000



小川芋銭

沼四題 泥鰌打

Four Marsh Scenes: Catching Loaches

1922年 紙本墨画淡彩

65.4×92.5cm

inscribed lower right: 芋銭

marked lower right: 艸汁

木村定三氏寄贈 JJ200100010000



前田青邨

朝鮮五題 水汲

Five Korean Scenes: Water Drawer

1939年 紙本墨画淡彩

65.3×107.2cm

inscribed lower left: 青邨

marked lower left: 青邨

木村定三氏寄贈 JJ200100014000



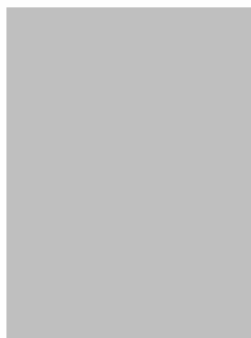
〈絵画〉

三尾公三

Palm Beach 昼下り

Palm Beach - Early Afternoon

1989年 板, アクリル
162.0×120.0cm
inscribed on back of canvas:
Palm Beach/ 昼下り/ (1989)/
162×120/ 三尾公三
三尾啓氏寄贈 JO200100001000



坂井範一

風景

Landscape

1958年頃? 画布, 油彩
73.3×52.9cm
inscribed lower left: nory-
総務部財産管理課 (1959年購入)
より管理換
JO200100006000

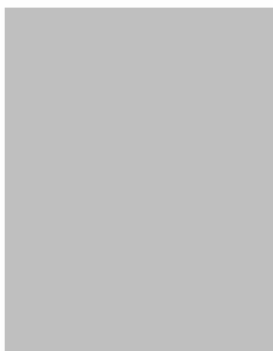


三尾公三

画室の女

Woman in Atelier

1990年 板, アクリル
162.0×120.0cm
inscribed on back of canvas:
画室の女/ 1990/ 三尾公三
三尾啓氏寄贈 JO200100002000



山田光春

樹

Tree

1957年 画布, 油彩
60.7×50.2cm
inscribed lower right: Coshun
総務部財産管理課 (1957年購入)
より管理換
JO200100007000



稲垣考二

陽光

Sunshine

1990年 画布, 油彩
227.3×145.5cm
inscribed on back of canvas:
「陽光」/ 1990/ 稲垣考二
名古屋名城ライオンズクラブ寄贈
JO200100003000



稲垣考二

光の帯

Light Sash

1998年 画布, 油彩
162.3×194.5cm
inscribed lower right: IK
inscribed on back of canvas:
光の帯/ 1998/ 稲垣考二
名古屋名城ライオンズクラブ寄贈
JO200100004000

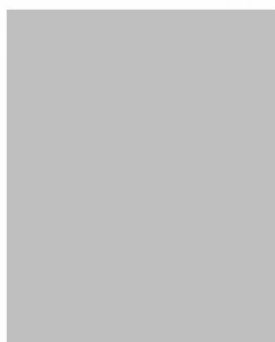


小川博史

カテドラル

Cathedral

1962年 画布, 油彩
90.8×72.9cm
inscribed lower right: H.Ogawa
総務部財産管理課 (1964年購入)
より管理換
JO200100005000

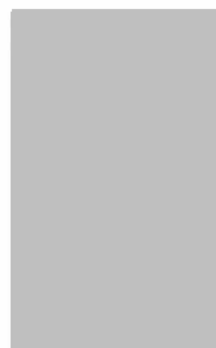


須田剋太

東大寺

Todaiji Temple

1981年 画布, 油彩
65.2×90.9cm
inscribed lower left: 東大寺 一九八一 剋
木村定三氏寄贈 JO200100008000



須田 昶太

東大寺落慶供養

Celebration of the Raise of Todaiji Temple

1987年 画布, コラージュ・油彩

97.0×145.5cm

inscribed lower center: 1987 昶

木村定三氏寄贈 JO200100009000



須田 昶太

鏡獅子

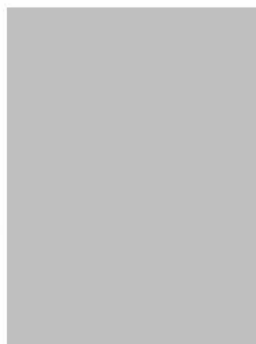
Lion

1989年 紙, コラージュ・彩色

112.1×145.5cm

inscribed lower right: 1989 昶

木村定三氏寄贈 JO200100011000



須田 昶太

遊女之図

Prostitute

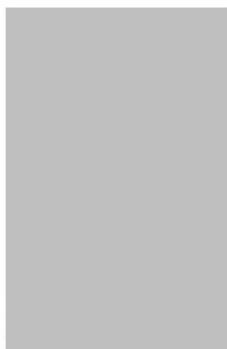
1988年 紙, コラージュ・彩色

89.4×145.5cm

inscribed upper right: 須田昶太 一九八八

inscribed upper left: 遊女之図

木村定三氏寄贈 JO200100010000



横井 礼以

三つ面

Three Masks

1953年 画布, 油彩

72.5×60.5cm

inscribed lower right: RYokoi

木村定三氏寄贈 JO200100012000



〈水彩・素描〉

稲垣 考二

横たわる人

Lying Woman

1993年 紙, 鉛筆

59.7×82.6cm

inscribed lower right: IK

inscribed on back of canvas:

「横たわる人」/ 1993 / 稲垣考二

作者寄贈 JD200100001000



〈彫刻・立体〉

久野 真

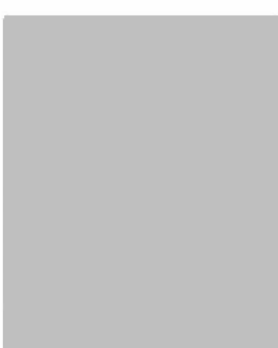
鋼鉄による作品

Steel Work

1959年 板, 鉄・石膏・布・特殊染料

151.0×131.0cm

JS200100001000



稲垣 考二

腰掛けるポーズ

Sitting Pose

1995年 紙, 鉛筆

76.3×66.3cm

inscribed lower right: IK

inscribed on back of canvas:

腰掛けるポーズ/ 1995 稲垣考二

作者寄贈 JD200100002000



久野 真

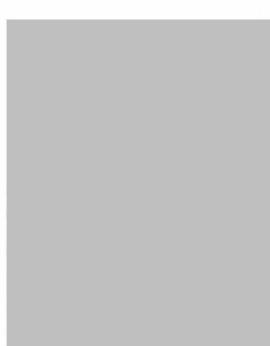
鋼鉄による作品 #272

Steel Work #272

1975年 板, ステンレス

160.0×130.0cm

JS200100002000

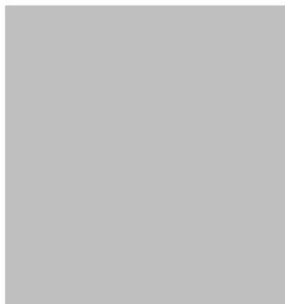


庄司達

白い布による空間'68-2

Space by White Cloth '68-2

1979(1968)年 フレーム, 綿布, 糸
216.0×202.0×202.0cm
JS200100003000



森岡完介

Message 82-4P

Message 82-4P 5/20

1982年
紙(ブレン), シルクスクリーン
58.5×77.0cm
inscribed lower right margin:
'82-4P KMorioka
inscribed lower left margin: 5/20
作者寄贈 JP200100003000



土谷武

いきものⅡ

A Living Being Ⅱ

1985年 コルテン銅・軟銅
160.0×395.0×119.0cm
作者寄贈 JS200100004000



森岡完介

Message 82-4N

Message 82-4N 11/20

1982年
紙(ブレン), シルクスクリーン
58.5×77.0cm
inscribed lower right margin:
'82-4N KMorioka
inscribed lower left margin: 11/20
作者寄贈 JP200100004000



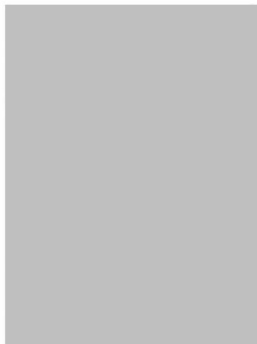
<版画>

森岡完介

人は何処へ 77-3

Where man is... 77-3 9/15

1977年 紙(BFK), シルクスクリーン
66.5×49.0cm
inscribed lower right margin:
'77 KMorioka
inscribed lower left margin: 9/15
作者寄贈 JP200100001000



森岡完介

Beethoven at the beach - Message 86-11P

Beethoven at the beach
- Message 86-11P 23/25

1986年 紙(アルシュ), シルクスクリーン
70.0×105.0cm
inscribed lower right margin: '86-11P KMorioka
inscribed lower left margin: 23/25
愛知県美術館友の会寄贈 JP200100005000

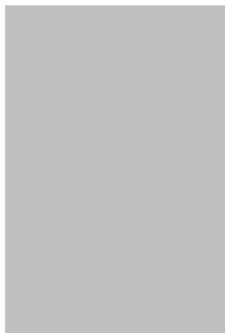


森岡完介

人は何処へ 78-16

Where man is... 78-16 4/15

1978年
紙(アルシュ), シルクスクリーン
85.0×57.0cm
inscribed lower right margin:
'78 KMorioka
inscribed lower left margin: 4/15
愛知県美術館友の会寄贈
JP200100002000



森岡完介

Beethoven at the beach - Message 86-11N

Beethoven at the beach
- Message 86-11N 16/17

1986年 紙(アルシュ), シルクスクリーン
70.0×105.0cm
inscribed lower right margin: '86-11N KMorioka
inscribed lower left margin: 16/17
愛知県美術館友の会寄贈 JP200100006000



保存・修復

作品環境を調査し、その維持管理の方法について毎年度重点項目を設け計画的に整備を進めている。先に開始している所蔵作品の保存状態の調査も継続している。

2001年度の活動概要

- ア 所蔵作品の状態調査
 - ・状態調査作品 47点
- イ 所蔵作品の保存処置等
 - ・保存処置作品 11点（うち委託 4点）
 - ・新規額及び保存箱・付属品の製作 9組
- ウ 保存環境の整備
 - ・（特記）防鼠対策の検討。
 - ・（継続）清掃業務のマニュアル化（収蔵部門を中心）
 - ・（継続）害虫発生時対応の準備（低酸素処理方法の準備、愛知県陶磁資料館と共同作業）
- エ 借用作品の点検とその維持管理

- オ 緊急時の対応を目的としたネットワーク構築
 - ・全国美術館会議災害時情報ネットワーク東海ブロック幹事館前ブロック幹事館より緊急連絡先一覧の引き継ぎ
 - 台風11号（8/21上陸）後、ブロック内の被害確認
 - ・県内技術者のネットワーク構築
- カ 他美術館所蔵作品の保管
 - 前年度に引続き、東京国立近代美術館の所蔵作品の一部を同館の改築工事に伴い保管した。

保存処置作品一覧

No.	作家名	作品名(技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	大澤海蔵	編み物する女 (油彩・画布)	洋画	絵具層の剥離	ゼラチンによる剥落留め・ クリーニング	浅井千晴 (館内処置)
2	大澤海蔵	晩夏 (油彩、画布)	洋画	絵具層の剥離 画面の汚れ	ゼラチンによる剥落留め・ クリーニング	長屋 (館内処置)
3	ラウル・ デュフィ	サンタドレスの浜辺	洋画	画布の破れ・たるみ	画布の繕い・ストリップライ ニング・ルースライニング	浅井千晴 (館内処置)
4	ジム・ダイン	芝刈り機 (金属・木、画布、油彩)	立体	画布のたるみ 絵具層の剥離	ルースライニング・ ゼラチンによる剥落留め	浅井千晴 (館内処置)
5	パブロ・ピカソ	聖マトレル 全4点 (紙、銅版画)	版画	画面の歪み (裏面の影響)	裏面の旧ヒンジ・紙テープ、 その他の除去	長屋 (館内処置)
6	パブロ・ピカソ	男の顔 (紙、銅版画)	版画	画面の歪み (裏面の影響)	裏面の旧ヒンジ・紙テープ、 その他の除去	長屋 (館内処置)
7	パブロ・ピカソ	ギターを持つ男 (紙、銅版画)	版画	画面の歪み (裏面の影響)	裏面の旧ヒンジ・紙テープ、 その他の除去	長屋 (館内処置)
8	パブロ・ピカソ	男と犬 (紙、銅版画)	版画	画面の歪み (裏面の影響)	裏面の旧ヒンジ・紙テープ、 その他の除去	長屋 (館内処置)
9	パブロ・ピカソ	静物 (紙、銅版画)	版画	画面の歪み (裏面の影響)	裏面の旧ヒンジ・紙テープ、 その他の除去	長屋 (館内処置)
10	戸谷成雄	地霊 (木、鉄、ガラス、アクリル、灰)	立体	ガラス面の歪み (内部の木のひずみ)	内部の木の高さの調整、 表面の表現の修正	戸谷成雄 (作家自身・館内処置)
11	クルト・ シュヴィッターズ	メルツ絵画305、ロボジツ (コラージュ、紙、布)	立体	オリジナルマット (サイン部の破片)の破れ	裏打ち	長屋 (館内処置)

新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名	作品名(技法材料)	種別	製作物(理由)
1	森村宜福	四季草花図 (絹本着色・六曲一双屏風)	日本画	屏風箱の作製（購入以来専用の箱がなく、板ダン梱包がされていたため）
2	森岡完介	人は何処へ77-3 (紙・シルクスクリーン)	版画	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
3	森岡完介	人は何処へ78-16 (紙・シルクスクリーン)	版画	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
4	森岡完介	message82-4P (紙・シルクスクリーン)	版画	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
5	森岡完介	message82-4N (紙・シルクスクリーン)	版画	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
6	森岡完介	Beethoven at the beach-message 86-11P (紙・シルクスクリーン)	版画	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
7	森岡完介	Beethoven at the beach-message 86-11N (紙・シルクスクリーン)	版画	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
8	稲垣孝二	横たわる人 (紙・鉛筆)	素描	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)
9	稲垣孝二	腰掛けるポーズ (紙・鉛筆)	素描	新規額・マット装 (寄贈時、作品は単体（ペラ）で、そのままでは展示ができなかった。)

2001（平成13）年度 緊急時対応ネットワーク構築事業に伴う事例

1

目的	被災作品の事例を県内技術者と調査、通常の修復処理を行うことと平行して、応急処置方法について検討、討議する。
災害事例	完全水没油彩画100号1点（1999年9月11日東海地区集中豪雨による）
参加者	油彩修復技術者・浅井千晴（自宅名古屋市） 額装技術者・佐藤史郎（名古屋市在住）、大須賀智恵（岡崎市在住）
資料提供者	大府市在住（県内在住者）
成果物	修復報告書
成果概要	作品は、完成後8年で水害に遭った。カンバス画が水に浸かった場合の損傷についての報告書は複数あり、ある程度は推測されていたものの、実際の被害にあった作品を調べてみると、予想外の現象もいくつか観察された。作品が被災した場合の速やかな対応の必要性和同時に、これらの応急処置の難しさを改めて認識する結果となった。

所蔵作品の貸出

貸出状況

内外の美術館等から所蔵作品の貸出要請に対して、展覧会の内容とその意義、当該作品の保存状態、所蔵作品展の展示計画などを十分に考慮し、愛知県美術館所蔵作品貸出要領に則って作品の貸出を行った。

貸出の概要

	分 野	点 数
国内作家	日本画(JJ)	12点
	洋 画(JO)	30点
	水彩・素描(JD)	9点
	立 体(JS)	3点
	資 料(JM)	0点
	藤井達吉コレクション	59点
海外作家	絵画(FO)	9点
	水彩・素描(FD)	1点
	立体(FS)	5点
	版画(FP)	0点
	計 (42件分)	128点

貸出作品一覧

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
1 牛島憲之	埋れる船	生誕100年記念 牛島憲之展	2001.1.8-4.19	北九州市立美術館 神戸市立小磯良平美術館
2 宮脇晴 エルンスト・バルラッハ 本郷新	自画像 忘我 無辜の民 (仏生)	子供のための美術展「ココロの形・カタチの心」	2001.4.9-6.1	新潟県立近代美術館
3 鬼頭鍋三郎 鬼頭鍋三郎 鬼頭鍋三郎	浴後 二人のバレリーナ 春装譜	鬼頭鍋三郎の視線－人間美を描く	2001.3.2-6.2	古川美術館
4 神原泰	生命の流動	岡本唐貴とその時代	2001.4.15-6.5	倉敷市立美術館
5 田淵俊夫 片岡珠子	飛鳥川 リヴァー (朝陽山の石狩川)	水のある風景－美しい日本の風土	2001.4.20-6.5	井原市田中美術館
6 小嶋悠司	穢土	小嶋悠司の創造展－時代と人間を凝視して	2001.4.20-6.20	練馬区立美術館
7 佐藤昌胤	よしやま	没後30年佐藤昌胤	2001.6.19-7.3	三重県立美術館県民ギャラリー
8 岸田劉生 岸田劉生 岸田劉生	高須光治君之像 葵 斎藤与里氏像	岸田劉生展	2001.2.8-7.10	愛知県美術館 神奈川県立近代美術館 笠間日動美術館
9 山口薫	ボタン雪と騎手	山口薫展	2001.5.17-7.11	茨城県近代美術館
10 荻原守衛 戸張孤雁	女の胴 裸婦2態	ロダンと日本展	2001.4.18-8.19	静岡県立美術館 愛知県美術館

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
10 戸張孤雁 戸張孤雁 オーギュスト・ロダン	足芸 綱渡り(綱上り) 歩く人	ロダンと日本展	2001.4.18-8.19	静岡県立美術館 愛知県美術館
11 野口謙蔵	虹のある雪景	生誕100年記念 野口謙蔵展	2001.6.5-8.23	滋賀県立近代美術館
12 藤井達吉 藤井達吉 藤井達吉 藤井達吉	桜図 扇面流し 舞鶴草 墨絵・松	藤井達吉屏風絵展	2001.8.1-8.29	岡崎市美術館
13 奥谷博 伊東隆雄 牛島憲之 大沢鉦一郎	貝と河豚 地引網 埋れる船 少女海水浴	海へのいざないー作品が語りかけるもの	2001.7.14-9.5	知多市歴史民俗博物館
14 北川民次 北川民次	メキシコ三童女 タスコからの眺望	いこまい！！愛知のミュージアム展	2001.7.3-9.7	名古屋市博物館
15 グスタフ・クリムト	人生は戦いなり	グスタフ・クリムト展	2001.6.5-9.29	カナダ国立美術館、オタワ
16 平山郁夫	棲蘭の遺跡(昼)	平山郁夫展	2001.8.31-10.28	北海道立近代美術館
17 宇佐美圭司	長い歩み	現代美術への招待ー日本の前衛60年代ー	2001.9.15-11.5	鳥取県立博物館
18 山本芳翠	西洋裸婦	復活、泰西名画展覧会	2001.9.9-11.8	郡山市立美術館
19 マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	マックス・エルンスト展	2001.7.27-11.16	岡崎市美術博物館 和歌山県立近代美術館
20 ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海I	自然と人間	2001.10.18-11.28	群馬県立館林美術館
21 大澤海蔵 大澤海蔵 大澤海蔵	ホルンのある静物 晩夏 編み物をする女	近代の洋画家 大澤海蔵の世界	2001.10.4-11.29	犬山市文化史料館
22 里見勝蔵	画家の妻(婦人像)	二人の野獣ー里見勝蔵と三岸好太郎	2001.9.5-11.29	北海道立三岸好太郎美術館
23 田窪恭治	廃墟	田窪恭治	2001.9.7-12.5	愛媛県美術館
24 小松均 小松均	富士山(上) 富士山(下)	小松均展	2001.9.10-12.9	宮城県美術館 京都国立近代美術館

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
小松均	溪流	小松均展	2001.10.24-2002.2.13	京都国立近代美術館 山形美術館
25 国領経郎	風	国領経郎展	2001.11.13-12.13	鳥取県立博物館
26 笠井誠一	ウクレレと冬瓜とグロリオサのある卓上静物	笠井誠一展	2001.10.26-12.14	安田火災東郷青児美術館
27 森勇	大きな仮面	森勇主宰『Mの会』の年次作品展	2001.12.10-12.18	名古屋市博物館ギャラリー
28 グスタフ・クリムト	人生は戦いなり	ウィーン分離派展	2001.10.29-12.28	宮城県美術館
ジョルジュ・ミンヌ	聖遺物箱を担ぐ少年		2001.10.29-2002.4.26	宮城県美術館
オーギュスト・ロダン	歩く人			BUNKAMURA ザ・ミュージアム 島根県立美術館
29 三岸節子	らくがき	三岸節子・秋野不矩展	2001.10.9-2002.1.16	天竜市立秋野不矩美術館 尾西市三岸節子記念美術館
30 秋山陽	Pho II	京都の工芸1945-2000	2001.8.16-2002.2.22	京都国立近代美術館 東京国立近代美術館
31 メダルド・ロッシ	病める子	イタリア彫刻の20世紀	2001.10.25-2002.2.27	茨城県近代美術館 芸術の森美術館 島根県立美術館
32 フランティシェク・クプカ	灰色と銀色の展開	未完の世紀ー20世紀美術がのこすもの	2002.1.8-3.15	東京国立近代美術館
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物			
パブロ・ピカソ	青い肩掛けの女			
桑山忠明	茶白青			
アンリ・マティス	待つ			
33 藤井達吉	継色紙風蓋物	藤井達吉展ー梅を描く	2002.2.26-3.26	岡崎市美術館
藤井達吉	紅梅			
藤井達吉	紅梅			
藤井達吉	紅白梅の図			
藤井達吉	自画像			
藤井達吉	七宝梅絵建水			
藤井達吉	漆絵盆 梅			
藤井達吉	真鶴の夜の海			
藤井達吉	梅			
藤井達吉	梅			
藤井達吉	梅 ろうけち			
藤井達吉	梅 ろうけつ染め			

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
33 藤井達吉	梅の花(落花)	藤井達吉展―梅を描く	2002.2.26-3.26	岡崎市美術館
藤井達吉	梅百題その(一)			
藤井達吉	梅百題その(五)			
藤井達吉	梅百題その(八)			
藤井達吉	梅百題その(十五)			
藤井達吉	梅百題その(十七)			
藤井達吉	梅百題その(二十六)			
藤井達吉	梅百題その(二十七)			
藤井達吉	梅百題その(二十八)			
藤井達吉	梅百題その(二十九)			
藤井達吉	梅百題その(三十四)			
藤井達吉	梅百題その(三十七)			
藤井達吉	梅百題その(四十四)			
藤井達吉	梅百題その(四十五)			
藤井達吉	梅百題その(四十九)			
藤井達吉	梅百題その(五十四)			
藤井達吉	梅百題その(五十七)			
藤井達吉	梅百題その(六十)			
藤井達吉	梅百題その(六十一)			
藤井達吉	梅百題その(六十二)			
藤井達吉	梅百題その(六十五)			
藤井達吉	梅百題その(六十八)			
藤井達吉	梅百題その(六十九)			
藤井達吉	梅百題その(七十四)			
藤井達吉	梅百題その(七十八)			
藤井達吉	梅百題その(七十九)			
藤井達吉	梅百題その(八十)			
藤井達吉	梅百題その(八十一)			
藤井達吉	梅百題その(八十二)			
藤井達吉	梅百題その(八十三)			
藤井達吉	梅百題その(八十四)			
藤井達吉	梅百題その(八十五)			
藤井達吉	梅百題その(八十六)			
藤井達吉	梅百題その(八十七)			
藤井達吉	梅百題その(八十八)			
藤井達吉	梅百題その(八十九)			
藤井達吉	梅百題その(九十)			
藤井達吉	梅百題その(九十一)			
藤井達吉	梅百題その(九十二)			
藤井達吉	梅百題その(九十九)			
藤井達吉	梅百題その(百)			
藤井達吉	梅百題 あとがき			

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
33 藤井達吉	梅百題につきて	藤井達吉展－梅を描く	2002.2.26-3.26	岡崎市美術館
34 川崎春彦	新雪富士	下保 昭・川崎春彦	2002.2.3-4.1	茨城県近代美術館
35 平山郁夫	楼蘭の遺跡(昼)	わが心の旅路－平山郁夫展	2002.2.15-4.2	名都美術館
36 パウル・クレー	蛾の踊り	パウル・クレー展	2002.1.7-4.6	ヘイワード・ギャラリー、ロンドン
37 安田靉彦	月の兎	安田靉彦－歴史画再発見	2001.1.31-2002.4.9	平塚市美術館
38 加藤東一 鬼頭鍋三郎	伝承 春装譜	春－歌会始御題によせて	2002.3.1-4.10	式年遷宮記念神宮美術館
39 梅原龍三郎	若き羅馬人	梅原龍三郎展	2001.12.13-2002.4.21	島根県立美術館 下関市立美術館 岡山県立美術館
40 アンディ・ウォホール	レディース・アンド・ジェントルマン	ポップ!ポップ!!ポップ!!!	2002.3.29.5.28	茨城県近代美術館
41 川島理一郎	フィリピン服の女	川島理一郎展	2001.12.20-2002.6.1	栃木県立美術館 足利市立美術館
42 藤島武二 藤島武二 藤島武二 藤島武二 藤島武二	朝鮮服の女 朝鮮服の女(玉手箱の習作) 池と堤 オリエントの模様 縁日で	藤島武二展	2002.3.29-8.9	ブリヂストン美術館 石橋美術館

1. 出版・発行

2001年度の刊行物

- ・企画展カタログ（各企画展の項を参照）
- ・企画展鑑賞の手引き等
 - 《メルツバッハー・コレクション展》
 - 鑑賞ガイド（全体と各章の説明、主要作品12点の解説） A 4判4頁
 - 音声ガイド（主要作品30点の解説）
 - 《ロダンと日本》
 - 鑑賞ガイド（全体と主要テーマの解説） A 4判4頁
 - 音声ガイド（主要作品30点の解説）
 - 《リチャード・バックミンスター・フラー展》
 - 鑑賞ガイド（作家と主要作品等15点の解説） A 4判変型6頁
 - 《世界遺産 ポンペイ展》
 - 音声ガイド（主要作品23点の解説）
- ・所蔵作品展関連
 - 第Ⅰ期・前期 展示品リスト A 4判
 - 第Ⅰ期・後期 展示品リスト A 4判
 - 第Ⅱ期・前期 展示品リスト A 4判
 - 第Ⅱ期・後期 展示品リスト A 4判
 - 第Ⅲ期 展示品リスト
 - テーマ展示「杉戸洋展」パンフレット
 - 『voyagerー杉戸洋展』
 - 「時の旅人たち」展 解説パンフレット
 - 『所蔵品を中心とする1980年以降の現代美術入門』
 - 特集展示「平成13年度 新収蔵作品展」目録
 - 『2001年度新収蔵作品 NEW Acquisitions』
 - ミュージアムワークシート（小学高学年対象、A 4判三折）の作成
 - ・《漂う天界》ルイズ・ニーヴェルスン
 - ・《ロバート&エセル・スカルの肖像》ジョージ・シーガル
 - ・《片膝ついて》アレクサンダー・コールダー
- ・子供用美術館案内パンフレット
 - 《美術館へようこそ》 A 4判変型四つ折り



2. 講演会・講座・シンポジウム等

《ロダンと日本》展

「記念トーク ロダンと日本」	6月22日(金)
クローディー・ジュドラン(フランス国立ロダン美術館素描部長)	74人
「ロダンの日本」	6月30日(土)
長谷川 三郎(愛知県美術館長)	122人
「ロダンと鷗外、漱石、光太郎」	7月7日(土)
平川 祐弘(福岡女学院大学教授)	137人

《バックミンスター・フラー展》

「フラーと21世紀」	9月22日(土)
阿竹 克人(建築家)	103人

《世界遺産 ポンペイ展》

「世界遺産 ポンペイの魅力」	2月23日(土)
青柳 正規(東京大学教授)	255人



3. 定期講演会(連続講座)等

《時の旅人たち》展

「視線の森」(愛知県美術館友の会共催事業)	1月6日(日)
戸谷 成雄(美術家)	98人

《連続講座：よくわかる！現代美術》

タイトル	講 師	開催日	参加人数
「前衛美術の時代ー 1950～60年代の動向」	木本 文平 (愛知県美術館企画普及課長)	11月23日	35人
「現代美術の変容ー 1970年代の動向」	拝戸 雅彦 (愛知県美術館学芸員)	12月1日	30人
「仮設的な構築へー 1980年代の動向」	中村 英樹 (名古屋造形芸術大学教授)	12月8日	60人
「多極の時代のアートー 1990年代の動向」	小西 信之 (愛知県立芸術大学助教授)	12月15日	27人

4. 展示解説会（ギャラリートーク／スライドレクチャー）

展 覧 会	開催日	参加者数
メルツバッパー・コレクション展	4月14日	30人
	4月21日	30人
	4月27日	30人
	5月11日	28人
	5月18日	33人
	5月25日	25人
ロダンと日本	6月23日	28人
	7月14日	31人
	7月27日	30人
	8月10日	30人
バックミンスター・フラー展	9月29日	15人
	10月6日	20人
	10月13日	20人
	10月20日	50人
時の旅人たち	11月17日	20人
	12月1日	8人
	12月15日	20人
世界遺産ポンペイ展	2月9日	39人
	2月16日	50人
	2月22日	27人
	2月28日	90人
	3月9日	80人
	3月15日	33人
	3月23日	82人
	3月28日	55人

* 「世界遺産 ポンペイ展」では、会場混雑のためギャラリートークに替えてアートスペース E・F でスライド・レクチャーを行った。

5. 各種鑑賞プログラム

(1) 教師を対象とした企画展鑑賞会

学校と美術館の連繫を深めることを意図し、授業や見学会などで活用してもらうために、美術担当に限らず、小・中・高の先生方全般を対象とした企画展の鑑賞会を行っている。

展 覧 会	開催日	参加者数
メルツバッパー・コレクション展	4月21日	15人
ロダンと日本	6月30日	38人
バックミンスター・フラー展	9月22日	8人
時の旅人たち	11月23日	11人
世界遺産 ポンペイ展	2月23日	68人

(2) 児童、生徒を対象とした鑑賞教育

・夏休み 子ども鑑賞会「ようこそ、アートの世界へ！」

所蔵作品展示室や屋外展示スペースで、約6人ずつのグループで作品鑑賞を実施した。

鑑賞作品にあわせてワークシート（A4判）を作成し、また鑑賞補助資料として展示作家（元永定正）による絵本を使用した。

担当学芸員：藤島 美菜、深山 孝彰

開催日	実施時間	対 象	参加者数
7月26日	10:00～12:00	小1-2	10人
7月26日	14:30～16:30	小1-2	14人
7月28日	10:00～12:00	小3-4	13人
7月31日	10:00～12:00	小5-6	12人
7月31日	14:30～16:30	小3-4	14人
8月1日	10:00～12:00	小3-4	9人
8月1日	14:30～16:30	小3-4	9人
8月3日	10:00～12:00	小1-2	12人
8月3日	14:30～16:30	小1-2	8人

・ポンペイ展 親子鑑賞会

親子で展示会を楽しんでもらうために、スライド・レクチャーを行った。

担当学芸員：藤島美菜

2002年3月23日（土） 10：00～10：30

2002年3月31日（日） 10：00～10：30

（3）教育的性格を重視した特集展示の開催

「学芸員お薦めのこの1点」

所蔵作品展の前室にコーナーを設け、各期ごとに学芸員が交代で作品1点を選び、文字・写真のパネルや参考品を用いて、作品の見どころや制作の背景などを解説した。

なお、この企画は平成12年度から実施している。

作家名	作品名	期間	担当学芸員
岡鹿之助	《窓》	第一期前期	藤島美菜
山口勝弘	《港 No.2》	第一期後期	長屋菜津子
長谷川利行	《酒売場》	第二期前期	村田真宏
戸張孤雁	《煌めく嫉妬》	第二期後期	深山孝彰
エドワード・J・ポインター	《世界の若かりし頃》	第三期	鯨井秀伸



（4）視覚に障害のある方へのプログラム」の開催

視覚障害者を対象とした所蔵作品鑑賞会を下記のとおり実施した。実施にあたっては、「名古屋YWCA 美術ガイドボランティアグループ」ほかの協力を得た。

担当学芸員：深山孝彰

・開催回(日時)および参加者数

①2002年1月17日(木)	午前10時30分～午後12時	3人
②	午後1時30分～午後3時	6人
③1月18日(金)	午前10時30分～午後12時	8人
④	午後1時30分～午後3時	22人

・おもな鑑賞作品

ブロンズ

佐藤忠良《レイ》	(大文字・点字解説作成、触察鑑賞)
柳原義達《黒人の女》《風の中の鴉》	(” ”)
舟越保武《シオン》	(” ”)

日本画

横山大観《飛泉》(大文字・点字解説、立体コピー作成)	
小林古径《洗濯場その1》《洗濯場その2》	(” ”)



6. ビデオテークでの映像機器を利用した鑑賞教育の実施

鑑賞教育のひとつとして、ビデオテークにおいて、所蔵作品や展覧会・作家などに関するビデオプログラムを提供しており、また主要な所蔵作品の画像と文字情報の検索システムを運用している。

13年度は所蔵作品解説ビデオ10点と作家紹介ビデオ「中西夏之一絵の姿形」を新規制作した。

7. 博物館実習生及び研修生の受入れ

・博物館実習生：13名

実習期間：2001年7月23日(月)～27日(金)<5日間>

実習内容：概略、施設見学、収集、保存、展覧会の実施、展示の実際、美術館教育、広報普及活動、友の会活動、災害と美術館、情報論（アートドキュメンテーション）、作品の扱い方（実習）

課題：下記の課題から一つを選択

- 1. 企画展の基本プラン
- 2. 来館者増大のためのプラン
- 3. 鑑賞補助資料の作成

氏名	大学	専攻	学年
長谷 倫衣	愛知県立芸術大学	絵画（油絵）	4年
藤永 絵里	愛知県立芸術大学	絵画（油絵）	4年
高村 渉	愛知県立芸術大学	絵画（日本画）	院2年
寺西美千代	愛知淑徳大学	美術史	科目履修生
清家 三智	金沢美術工芸大学	芸術学	4年
梶田 亮子	東海女子大学	美術史	4年
高林 君江	東海女子大学	美術史	4年
雨森 彩子	東京学芸大学	文化財科学	3年
水野 明子	東北芸術工科大学	日本画	4年
石川奈津子	名古屋芸術大学	絵画（日本画）	4年
佐野 舞	名古屋芸術大学	絵画（油絵）	4年
津崎 美里	名古屋芸術大学	デザイン	4年
三輪 友恵	新潟大学	ヨーロッパ文化	4年

・美術館研修生：6名

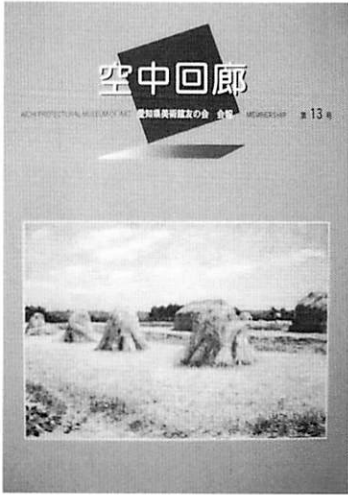
研修期間：2001年7月1日～2002年3月31日

氏名	大学・学部	学年
平川 淳	名古屋大学大学院文学研究科	美学美術史博士後期2年
谷口 寛子	同上	美学美術史博士前期2年
奥野 美香	同上	美学美術史博士前期1年
鳴戸 麻子	同上	同上
菊池 由花	同上	同上
森 美樹	同上	同上

8. 美術館友の会の運営協力

会員数：

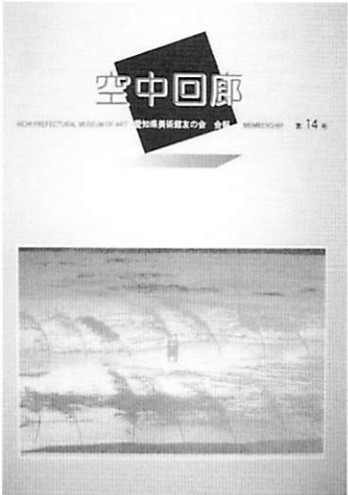
年 度	総 数	一 般 会 員		特別会員		総数の男女別内訳		
			内学生	個人	内団体	男性	女性	団体
1994年度	250	224	区分ナシ	24	2	113	135	2
1995年度	350	322	48	27	1	163	186	1
1996年度	381	353	73	27	1	173	207	1
1997年度	446	419	99	25	2	200	244	2
1998年度	420	394	77	24	2	184	234	2
1999年度	381	355	57	25	1	174	206	1
2000年度	441	412	64	28	1	199	241	1
2001年度	448	428	57	20	1	202	245	1



2001年度事業概要：

・企画展鑑賞会の実施

展 覧 会	開催日	参加者数
メルツバツハー・コレクション展	4月19日	80人
ロダンと日本	6月26日	38人
	7月9日	40人
バックミンスター・フラー展	9月20日	30人
	9月25日	34人
時の旅人たち	11月26日	22人
	11月29日	48人
世界遺産ポンペイ展	2月21日	64人
	2月25日	29人



・ロビー・コンサートの実施

「弦楽四重奏の夕べ」2月21日 参加者：84人 演奏者：名古屋フィルハーモニー交響楽団員 水野敏子、中西俊哉、吉田浩司、小笠原恭史

・講演会の実施（美術館との共催事業）

「視線の森」1月6日 参加者：98人 講師：戸谷成雄

・美術講座の実施

「ゴヤ・その独創性とは何かを一緒に考えよう」

3月16日 参加者：34人 講師：雪山行二

・美術館への支援事業

「美術作品の寄贈」版画家・森岡完介の作品《人は何処へ78-16》始め3点

・広報事業

会報『空中回廊』No13（2001年9月）、No14（2002年3月）の発行

企画展ポスター、チラシ等の宣伝材料の配布

・その他の事業

企画展及び所蔵作品展の無料観覧の実施

企画展関連商品の割引販売の実施（5％割引）

愛知県美術館が開催する講演会の聴講特別枠の設定

愛知県美術館が開催する講演会の経費協力

企画展の開会式及び内覧会の参加（但し、特別会員に限る）

芸術文化センター内のレストラン、喫茶店における利用割引の実施（10％割引）



2001年度の調査研究実績

当館および他の美術館や博物館の活動に関するもの、公的な助成による研究、学術雑誌や学会での発表に限定して記載し、一般の新聞・雑誌・画集・画廊カタログ等への寄稿（評論、解説、批評等）、および大学や市民講座・テレビ・ラジオ等での講義、講演は除いている。

ア. 所蔵品に関すること

- ・ 鯨井秀伸 「梅原龍三郎《横臥裸婦》と西欧の視覚伝統」『愛知県美術館研究紀要』第8号（2002年3月）
- ・ 古田浩俊 「ロシア未来派詩集アレクセイ・クルチョーヌイフ『爆』第二版」『愛知県美術館研究紀要』第8号（2002年3月）

イ. 企画展に関すること

- ・ 村上博哉 「作品解説」『メルツバッハー・コレクション展』（2001年4月）
- ・ 古田浩俊 「章解説」「作品解説」『メルツバッハー・コレクション展』（2001年4月）
- ・ 長谷川三郎 「“松方”のオデュッセイア終章—戦後外交記録を読む」『ロダンと日本展』（2001年4月）
- ・ 深山孝彰 「日本側から見たロダンの日本工芸品コレクションの特徴」「ロダン美術館所蔵日本美術工芸品総目録」「作品・作家解説」『ロダンと日本展』（2001年4月）
- ・ 栗田秀法 「ロダンの『白樺』 同人への贈物」『ロダンと日本展』（2001年4月）

ウ. 管理・保存に関すること

- ・ 長谷川三郎 「ロダン作品の鑄造の歴史的展開とフランスの鑄造管理規定」「全国美術館会議 学芸員研修会」口頭発表（2002年2月15日）
- ・ 村田真宏 「鑄造彫刻作品の収蔵・展示と鑄造管理の望ましい在り方」「全国美術館会議 学芸員研修会」口頭発表（2002年2月15日）
- ・ 長屋菜津子 「虫・カビとつきあう」「資料保存協議会第8回セミナー」口頭発表（2001年8月10日）
- ・ 長屋菜津子 「文化財の新たな総合的虫菌害防除対策（IPM）のシステム構築に関する研究」『科研』（2002年3月）
- ・ 長屋菜津子 「美術館における虫菌害対策—日常管理におけ

る具体的事例集の作成」（ポーラ美術振興財団 研究助成・共同研究〈H.P.上に掲載〉）

エ. アート・ドキュメンテーションに関すること

- ・ 鯨井秀伸 「イメージの歴史研究〈広領域におけるデータモデル研究〉」（科学研究費助成2001年10月）

オ. その他

- ・ 村上博哉 「自己イメージの弁証法—松本竣介《画家の像》、《立てる像》、《五人》《三人》の解説」『美術史学会第54回 全国大会（神戸大学）』口頭発表（2001年5月27日）
- ・ 坪戸雅彦 「Giappone：La persistenza della visione utopica」『先立未来展』図録（ペッチ現代美術センター、プラート、イタリア（2001年9月）
- ・ 高橋秀治 「アンドリュウ・ワイエスの絵画技法について」『第1回ワイエス・フォーラム（丸沼芸術の森）』口頭発表（2001年10月28日）
- ・ 栗田秀法 「原典資料紹介 フェリピアン＜王立絵画彫刻アカデミー講演録序（Ⅱ）＞」『美学美術史研究論集』第19号（2002年3月）
- ・ 栗田秀法 「聖書挿し絵本とプッサン」『愛知県美術館研究紀要』第8号（2002年3月）
- ・ 栗田秀法 「17世紀フランスにおける挿し絵本と絵画の関係についての総合的研究」（科学研究費助成、2001年度）

ギャラリー(貸館)

「愛知県美術館ギャラリー展示室等利用受付許可要領」にもとづき、8階の展示室A～J（全10室）を各種公募展・団体展等の利用に供している。2001（平成13）年の美術館ギャラリー展示室の利用申込みは183件あり、利用調整を行い、開催された展覧会は176件、利用率は100％であった。また、入場者数は、52万4千人余で、多くの県民に親しまれ、利用された。

2001（平成13）年美術館ギャラリー利用状況

1 展示室利用状況 (単位：日数)

月別	区分	利用可能 日数 a	利用日数 b	利用 率 b/a	展示室別利用日数												審査保管室	
					A	B	C	D	E	F	G	H	I	J				
					第 1	第 2												
13年 1 月	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	15	8			
2 月	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	3	5			
3 月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	6	25			
4 月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	16	22			
5 月	25	25	100.0	25	25	19	19	25	25	25	25	25	25	15	22			
6 月	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	5	12			
7 月	26	26	100.0	20	20	26	26	26	26	26	26	26	26	9	13			
8 月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	12	18			
9 月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	12	24			
10月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	12			
11月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	6	8			
12月	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	15	22			
計	303	303	100.0													140	191	

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

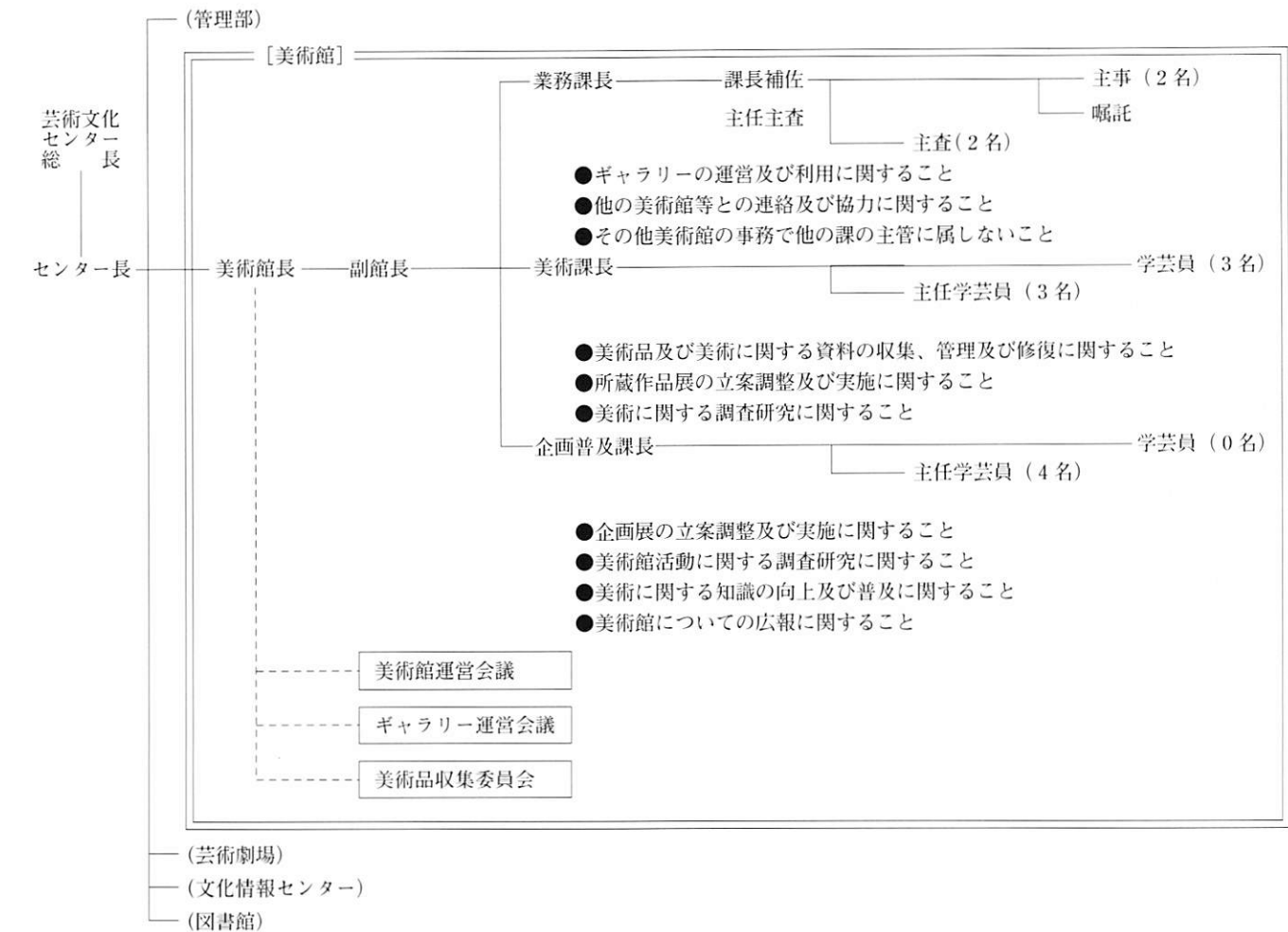
月別	展示会種別利用件数(件)								入場者数 (人)
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	計	
13年 1 月	5	2	0	0	1	0	0	8	132,919
2 月	2	2	0	1	2	2	0	9	22,357
3 月	2	5	0	0	4	1	1	13	31,795
4 月	5	4	0	1	6	0	0	16	43,638
5 月	6	9	2	1	0	0	0	18	46,096
6 月	3	3	1	0	2	0	1	10	25,554
7 月	5	8	0	2	5	0	2	22	38,771
8 月	6	3	0	0	3	0	0	12	36,502
9 月	5	6	0	0	4	1	2	18	39,516
10月	7	4	0	0	3	1	0	15	40,378
11月	6	5	0	2	4	0	0	17	31,597
12月	6	6	0	2	4	0	0	18	35,269
計	58	57	3	9	38	5	6	176	524,392

(注) 利用件数及び入場者数は、展覧会会期の初日に属する月で整理した。

[illegible]

組織および職員構成

1. 組織図



2. 愛知県美術館職員名簿 (2002年3月)

館長	長谷川 三郎
副館長	雪山 行二
業務課長	立松 正康
課長補佐	伊藤 岬
主任主査	山田 英一
主査	内藤 早苗
〃	加賀 勝己
主事	足立 理恵
〃	永尾有賀里
嘱託	木全 康子
美術課長	牧野研一郎
主任学芸員	村田 真宏
〃	古田 浩俊
〃	鯨井 秀伸
技師 (学芸員)	拝戸 雅彦
〃	長屋菜津子
〃	藤島 美菜
企画普及課長	木本 文平
主任学芸員	高橋 秀治
〃	村上 博哉
〃	深山 孝彰
〃	栗田 秀法

関係委員会名簿(2002年3月、50音順)

愛知県美術館運営会議委員名簿

	氏 名	職 名 (所 属)
	浅野 徹	名古屋ポストン美術館長
	内山 武夫	京都国立近代美術館長
	岡部あおみ	武蔵野美術大学教授
	笠井 誠一	愛知県立芸術大学名誉教授
	小林 龍郎	名古屋市美術館長
	佐治 泰直	愛知県県民生活部文化学事課長
◎	島田 章三	愛知県立芸術大学長
	白石 和己	三重県立美術館長
	竹内 正	名古屋市博物館長
○	中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授
	野々川房子	日本メナード化粧品株式会社 常務取締役 (メナード美術館アートプロデューサー)
	馬淵 明子	日本女子大学教授
	三浦 定俊	東京国立文化財研究所保存科学部長
	森 宏	(財)愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長

◎ 会長 ○ 会長職務代理 (50音順)

愛知県美術館ギャラリー運営会議委員名簿

	氏 名	職 名 (所 属)
	浅田 員由	陶磁資料館学芸部長
	石黒 鏑二	彫刻家・行動美術協会会員
◎	笠井 誠一	洋画家・立軌会会員
	佐治 泰直	愛知県県民生活部文化学事課長
	島田 章三	洋画家・国画会会員 (愛知県立芸術大学長)
	竹内 正	名古屋市博物館長
	樽本 樹邨	書家・日展会員・中日書道会会長
○	中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授・美術評論家
	松井 和弘	日本画家・創画会会員
	森 宏	(財)愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
	山脇 一夫	金城学院大学教授・美術評論家

◎ 会長 ○ 会長職務代理 (50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

	氏 名	職 名 (所 属 ・ 専 門 分 野)
	浅野 徹	名古屋ポストン美術館長 (日本近代美術史)
◎	内山 武夫	京都国立近代美術館長 (日本近代美術史)
	千足 伸行	成城大学教授 (西洋近代美術史)
○	中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授 (現代美術評論)
	山梨 俊夫	神奈川県立近代美術館副館長兼学芸課長 (近代美術史)

◎ 委員長 ○ 委員長職務代理 (50音順)

愛知県美術館年報	2001 年度版 2003 年 3 月発行
編集	愛知県美術館
発行	愛知県美術館 名古屋市東区東桜1-13-2 〒461-8525 PHONE : 052-971-5511 FAX : 052-971-5604
表紙デザイン・本文レイアウト	小谷恭治
印刷	凸版印刷株式会社

2001 Annual Report, Aichi Prefectural Museum of Art

Edited by

Aichi Prefectural Museum of Art

Published by

Aichi Prefectural Museum of Art

1-13-2 Higashisakura Higasiku,

Nagoya, 461-8525, Japan

Designed and layouted by

Kyoji KOTANI

Printed by

Toppan Print Co.

©2003

Printed in Japan